

熱海市公共下水道事業等における
ウォーターPPP 導入検討に関する
アンケート調査

参考資料

令和 7 年 2 月

熱海市公営企業部下水道課

目 次

1. 基本事項	1
1.1 本資料の目的	1
1.2 対象業務の例示.....	1
2. 下水道事業等の概要.....	5
2.1 施設の概要.....	8
3. 下水道事業の状況	22
3.1 施設に関する状況.....	22
3.2 組織体制に関する状況.....	56
3.3 財政に関する状況.....	60
4. 漁業集落排水事業の概要	63

1. 基本事項

1.1 本資料の目的

今回のアンケート調査は、ウォーターPPP（管理・更新一体マネジメント方式）等の官民連携手法の導入可能性検討を進めていくうえで参考とさせていただきます。アンケートにご回答いただくにあたり、本市の下水道事業等の概要や状況などを確認するために本資料をご活用ください。

なお、本資料に示す内容は、暫定的な情報を含むものであり、今後変更する可能性があることをご承知おきください。

1.2 対象業務の例示

アンケート設問 No. 4 に示す業務内容の想定は、以下の通り。なお、これらの業務内容については、今後の導入可能性検討や下水道分野におけるウォーターPPP ガイドラインの動向などを踏まえて詳細な内容を決定してゆく予定です。

図表 1.2-1 管路施設に関する業務の想定

大分類	中分類	小分類	主な業務の内容
維持管理	巡視・点検		巡視、目視確認など
	調査		潜行目視、TV カメラ調査、流量調査、水質調査など
	清掃		管路、開きょ、伏越、スクリーンの清掃など
	修繕		補修工事、MH 高さ調整、蓋交換など
計画	更新計画案策定		健全度判定、ストックマネジメント計画策定業務など
設計	実施設計（改築）		改築更新工事に関する実施設計（基本・詳細）業務など
CM（コンストラクションマネジメント）	設計業務発注・監理支援		市が発注する設計業務に関する発注作業・業務監理等の補助や助言など
	建設工事発注・監理支援		市が発注する建設工事に関する発注作業・施工監理の補助や助言など
工事	改築	管更生	管更生工法による改築工事
		布設替え	開削工法などによる布施替えの改築工事
		MH 蓋交換	マンホール蓋の交換など
	耐震化工事		管更生などによる管路の耐震化工事
問題解決業務	不明水対策		TV カメラ調査、流量調査など
	悪臭対策		臭気計測・原因特定調査など
住民対応等業務	事故対応		道路陥没・管路閉塞等への対応など
	住民対応		苦情等の受付、現地確認・緊急対応、委託者への報告など
	他工事立合		他企業工事、承認工事等の立会いなど
災害対応業務			被災状況把握、二次災害防止等緊急措置・対応など
その他	台帳管理		台帳システムへの維持管理情報の入力・整理
	見学者対応		見学者の案内・説明等補助など

図表 1.2-2 処理場・ポンプ場・マンホールポンプに関する業務の想定

大分類	中分類	小分類	主な業務の内容
維持管理	運転管理		施設の運転監視、管理記録作成など
	保守点検		日常・定期点検、法定点検、消耗部品の交換、補修作業など
	水質・汚泥試験		水処理・汚泥処理に関する水質分析調査など
	ユーティリティ調達	電力	電力の調達管理
		水道	上水道の調達管理
		ガス	ガスの調達管理
		通信	通信回線の調達管理
		薬品	汚泥処理等に使用する薬品の調達管理
		燃料	重油などの調達管理
		消耗品	消耗部品などの調達管理
	汚泥等廃棄物運搬処分	運搬・処分業務	廃棄物等の運搬・処分の許可を要する業務
		管理業務のみ	廃棄物等の運搬・処分の許可を要しない管理業務 (事務手続き、運搬業者等との調整・立合い等の補助業務)
	修繕業務	小規模修繕	部品の交換、補修など (1件当たりの金額や年間の金額等に制限があり精算処理される)
		修繕	部品の交換、補修、オーバーホールなど(金額に制限のなく精算処理されない)
	施設衛生管理		施設や水槽などの清掃、植栽芝地管理、警備など
計画	更新計画案策定		健全度判定、ストックマネジメント計画策定業務など
設計	実施設計(改築)		改築更新工事に関する実施設計(基本・詳細)業務など

図表 1.2-2 処理場・ポンプ場・マンホールポンプに関する業務の想定（続き）

大分類	中分類	小分類	主な業務の内容
CM(コンストラクションマネジメント)	設計業務発注・監理支援		市が発注する設計業務に関する発注作業・業務監理等の補助や助言など
	建設工事発注・監理支援		市が発注する建設工事に関する発注作業・施工監理の補助や助言など
工事	改築更新	土木・建築	土木・建築の改築工事
		機械設備	機械設備（建築設備を含む）の改築工事
		電気設備	電気設備（建築設備を含む）の改築工事
その他	緊急対応		災害・事故等の状況把握・点検調査、復旧対応など
	台帳管理		台帳システムへの維持管理情報の入力・整理
	見学者対応		見学者の案内・説明等補助など

2. 下水道事業等の概要

熱海市公共下水道事業は、昭和 26 年 1 月に認可を得て下水道管きょ埋設工事並びに渚簡易処理築造工事に着手し、予定処理区域 51.479ha、予定処理人口 9,769 人として昭和 27 年に一部排水処理を開始した。それ以降、昭和 30～40 年代の観光地としての発展とともに現在までの間、拡張に伴う事業認可と施設整備を重ね、現在の事業計画では計画処理面積 1,029ha、計画処理人口 23,100 人となっている。下水道事業計画と整備状況は以下のとおりである。

なお、離島である初島の漁業集落排水事業を令和 6 年度から下水道課で管理を行っている。

図表 2-1 下水道事業計画と整備状況

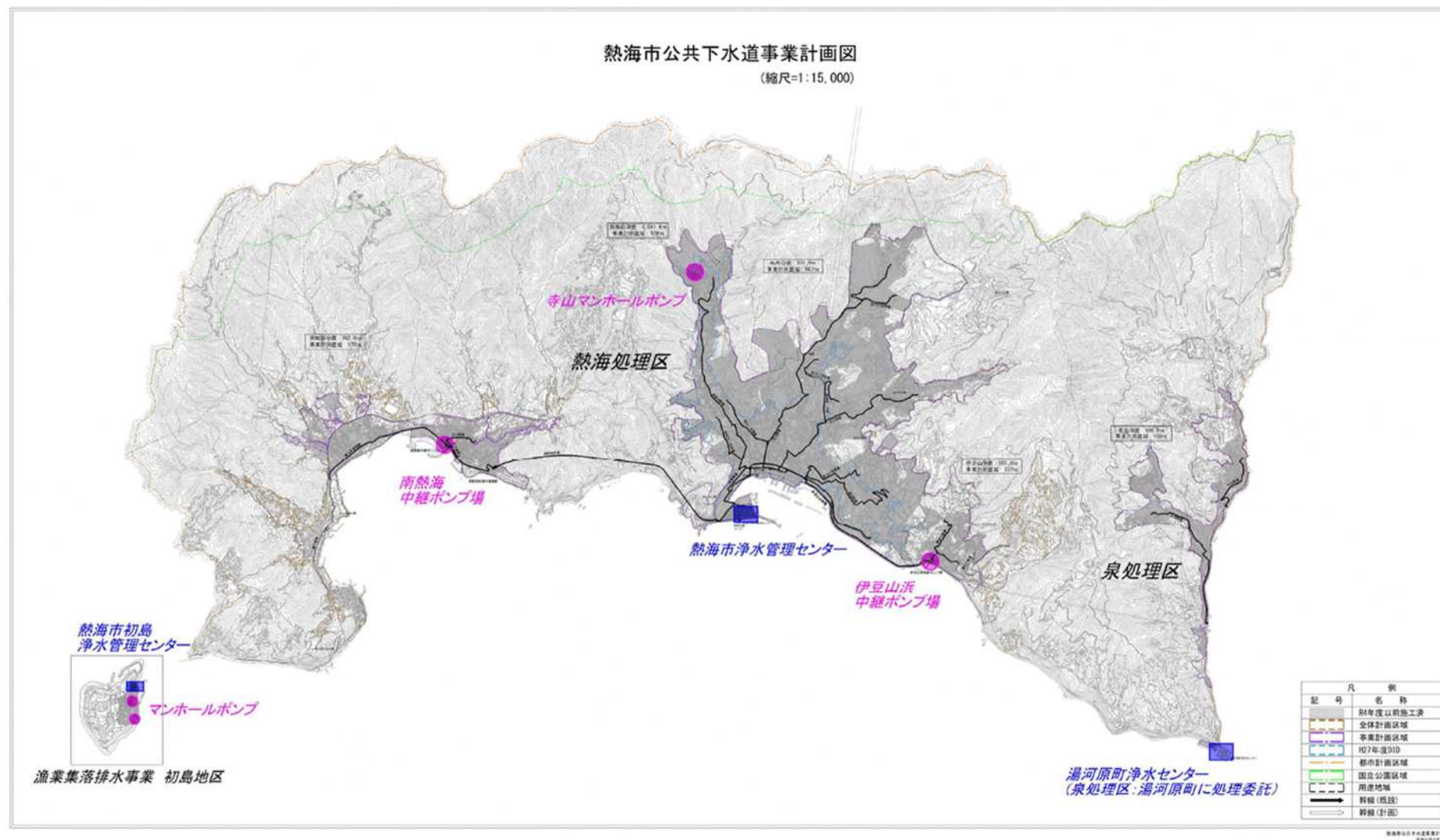
(令和6年3月31日 現在)

区 分		熱海処理区	泉処理区	全 体
行政人口	面 積	5,042 ha	1,135 ha	6,177 ha
	世 帯 数	19,288 世帯	1,488 世帯	20,776 世帯
	人 口	31,356 人	2,247 人	33,603 人
処理区域面積	全 体 計 画	1,041.4 ha	106.0 ha	1,147.4 ha
	事業計画処理面積	924 ha	105 ha	1,029 ha
	整備済面積	722.85 ha	67.42 ha	790.27 ha
処理人口	全 体 計 画	23,900 人	1,300 人	25,200 人
	事業計画処理人口	21,700 人	1,400 人	23,100 人
	処理可能人口	22,086 人	1,027 人	23,113 人
		14,445 戸	640 戸	15,085 戸
	水洗化人口	19,402 人	915 人	20,317 人
		12,807 戸	570 戸	13,377 戸
処理能力	全 体 計 画	45,000 m3/日		45,000 m3/日
	事業計画処理能力	45,000 m3/日		45,000 m3/日
	既設処理能力	45,000 m3/日 A系 25,000 B系 20,000		45,000 m3/日 A系 25,000 B系 20,000
排 除 方 式		分 流 式	分 流 式	
普 及 率 $\frac{\text{処理可能人口}}{\text{行政人口}}$		70.4 %	45.7 %	68.8 %
水 洗 化 率 $\frac{\text{水洗化人口}}{\text{処理可能人口}}$		87.8 %	89.1 %	87.9 %
面 整 備 率 $\frac{\text{整備済面積}}{\text{事業計画処理面積}}$		78.2 %	64.2 %	76.8 %

普及率…全 国 平均 81.4 % (令和5年度末)

静岡県平均 66.0 % (令和5年度末)

(出典) 下水道事業のあらまし (令和5年度版) 熱海市公営企業部下水道課



図表 2-2 熱海市公共下水道事業計画

2.1 施設の概要

本市の下水道施設の整備状況は図表 2.1-1～2.1-6 図表 2.1-1 に示すとおりであり、処理場及びポンプ場については整備済み、管路は約 129km が整備済みである。今後は、老朽化施設の改築事業、地震・津波対策事業、未整備地区の面整備事業（管路・マンホールポンプの新設）を進めていく方針である。また、各施設の経過年数（最古施設、2024 年基準）は、浄水管理センター 39 年、ポンプ場 21 年、管路 73 年である。熱海市浄水管理センター・ポンプ場の維持管理は、令和 3 年度～令和 7 年度の 5 年間、運転管理・保守点検・薬品調達・小規模修繕を含むレベル 2.5 相当の包括的民間委託を実施中である。

なお、熱海市では、湯河原町及び真鶴町のし尿を受け入れている一方、泉処理区より発生した汚水を湯河原町へ流下させ、汚水処理を委託している。

図表 2.1-1 管路延長

令和6年3月現在

処理区名	地区名	管路延長（m）
熱海処理区	熱海地区	92,932.84
	伊豆山地区	4,422.73
	南熱海地区	21,201.65
	小 計	118,557.22
泉処理区		10,616.87
合 計		129,174.09

令和5年度決算 129,174m(端数切)

（出典）下水道事業のあらまし（令和 5 年度版）熱海市公営企業部下水道課

図表 2.1-2 熱海市浄水管理センターの概要

位置 熱海市和田浜南町1694-29
敷地面積 58,230㎡(57,754.67㎡+475.33㎡)
処理場建設費累計 255億円(A系180億円、B系75億円)
供用開始 昭和60年7月
下水排除方式 分流式
処理方法 標準活性汚泥法
放流先 相模灘
汚泥処理 濃縮→機械脱水→場外搬出
延床面積 20,561.89㎡



処理能力		令和6年3月31日現在	
項目	基本計画	事業計画	現況
処理面積	1041.4ha	924ha	722.85ha
処理人口	23,900人	21,700人	22,086人
水処理能力(日最大)	45,000㎥/日	45,000㎥/日	45,000㎥/日
発生汚泥量	5.682t・DS/日 (23.0㎥/口)	5.691t・DS/日 (23.0㎥/口)	1.655t・DS/日 (5.0㎥/口)
主要施設			
項目	基本計画	事業計画	整備済
流入管渠	時間最大汚水量 0.778㎥/秒	時間最大汚水量 0.714㎥/秒	同左
沈砂池	2池 巾2.0m×長12.0m×有効水深3.0m	同左	同左
主ポンプ設備	9.8㎥/分 5台 (内1台予備)	20㎥/分 2台 (内1台予備) 7㎥/分 1台 9.8㎥/分 2台	20㎥/分 3台 (内1台予備) 7㎥/分 1台 9.8㎥/分 1台
最初沈殿池	A系 2池 平行流長方形沈殿池 巾7.3m×長27.5m×有効水深3.0m×2階層	同左	同左
	B系 4池 平行流長方形沈殿池 巾6.5m×長18.0m×有効水深3.0m	同左	同左
反応タンク設備	A系 4池 標準活性汚泥法 散気式流回方式 巾7.3m×長28.0m×有効水深11.0m	同左	同左
	B系 4池 標準活性汚泥法 散気式流回方式 巾6.5m×長43.0m×有効水深6.0m	同左	同左
最終沈殿池	A系 4池 平行流長方形沈殿池 巾7.3m×長29.5m×有効水深3.3m×2階層	同左	同左
	B系 4池 平行流長方形沈殿池 巾6.5m×長39.0m×有効水深3.5m	同左	同左
送風機設備	50㎥/分 3台 100㎥/分 2台(内1台予備)	同左	同左
塩素混和池	A系 1池 巾3.5m×長24.9m×有効水深3.0m 巾4.15m×長4.8m×有効水深3.0m	同左	同左
	B系 1池 巾2.0m×長83.0m×有効水深1.7m	同左	同左
汚泥濃縮槽	A系 3槽 重力式汚泥濃縮タンク 内径6.75m×有効水深8.0m	同左	同左
	B系 2槽 重力式汚泥濃縮タンク 内径8.0m×有効水深4.0m	B系 1槽 重力式汚泥濃縮タンク 内径8.0m×有効水深4.0m	同左
汚泥貯留槽	A系 長方形タンク 2基 有効100㎥ 1基 有効200㎥	同左	同左
	B系 長方形タンク 2基 有効200㎥	B系 長方形タンク 1基 有効200㎥	同左
汚泥脱水機	トルネードプレス型脱水機 4台	ロータリープレス型脱水機 1台 トルネードプレス型脱水機 3台	ベルトプレス型脱水機 2台 ロータリープレス型脱水機 1台 トルネードプレス型脱水機 1台

(出典) 下水道事業のあらまし(令和5年度版) 熱海市公営企業部下水道課

図表 2-1.3 伊豆山浜中継ポンプ場の概要

位置	熱海市伊豆山586-1
敷地面積	867.14㎡
建設費累計	12億4,080万円
供用開始	平成15年6月
計画揚水量(時間最大)	5.90㎥/分
建物	鉄筋コンクリート造 1棟 地上2階、地下1階
延床面積	521.03㎡



処理能力

令和6年3月31日現在

項目	基本計画	事業計画	現況
処理面積	167.5ha	137.0ha	37.89ha
処理人口	2,300人	2,000人	1,118人
計画1日平均汚水量	5,216㎥/日	4,299㎥/日	同左
計画1日最大汚水量	6,157㎥/日	5,079㎥/日	同左
計画時間最大汚水量	8,502㎥/日	6,989㎥/日	同左

主要施設

項目	基本計画	事業計画	整備済
流入ゲート	1門	同左	同左
送水ポンプ 横軸吸込みスクロー付渦巻きポンプ	口径 150mm 2.0㎥/分×11kw×4台 (内1台予備)	口径 150mm 2.5㎥/分×22kw×2台 (内1台予備) 口径 150mm 2.0㎥/分×11kw×2台	口径 150mm 2.5㎥/分×22kw×2台 (内1台予備)
自家発電機	1台・3相、3線 210V、50Hz、175KVA	同左	同左
脱臭方式	活性炭吸着方式	同左	同左

(出典) 下水道事業のあらまし(令和5年度版) 熱海市公営企業部下水道課

伊豆山浜中継ポンプ場は、伊豆山地区の汚水を浄水管理センターに送水するための施設となる。当ポンプ場は、無人施設であり、遠方監視システムにより、浄水管理センターにて24時間監視している。

図表 2.1-4 南熱海中継ポンプ場の概要

位置	熱海市上多賀134-5
敷地面積	2,219.93㎡
建設費累計	14億1,315万円
供用開始	平成15年12月
計画揚水量(時間最大)	7.79㎥/分
沈砂池	鉄筋コンクリート造 2池
建物	鉄筋コンクリート造 1棟 地上1階 地下2階
延床面積	924.02㎡



処理能力

令和6年3月31日現在

項目	基本計画	事業計画	現況
処理面積	202.0ha	120.3ha	81.06ha
処理人口	6,400人	4,000人	2,742人
計画1日平均汚水量	6,681㎥/日	4,097㎥/日	同左
計画1日最大汚水量	8,099㎥/日	4,997㎥/日	同左
計画時間最大汚水量	11,219㎥/日	6,947㎥/日	同左

主要施設

項目	基本計画	事業計画	整備済
流入ゲート	2門	同左	同左 (供用開始 1門)
沈砂池	2池 巾1.2m×長6.5m×有効水深 0.45m	同左	同左 (供用開始 1池)
送水ポンプ	口径 150mm 2.6㎥/分×22kw×4台 (内1台予備)	口径 250mm 4.8㎥/分×45kw×2台 (内1台予備) 口径 150mm 2.6㎥/分×22kw×1台	口径 250mm 4.8㎥/分×45kw×2台 (内1台予備)
脱臭方式	活性炭吸着方式	同左	同左

(出典) 下水道事業のあらまし(令和5年度版) 熱海市公営企業部下水道課

南熱海中継ポンプ場は、南熱海地区の汚水を浄水管理センターに送水するための施設となる。当ポンプ場は、無人施設であり、遠方監視システムにより、浄水管理センターにて24時間監視している。

図表 2.1-5 南熱海幹線中継施設の概要

位置	熱海市上多賀954-73
敷地面積	59.50㎡
中継施設建設費累計	7,323万円
供用開始	平成15年12月
建物	鉄筋コンクリート造 1棟
	地上1階、地下1階
延床面積	31.08㎡



主要施設			
項目	基本計画	事業計画	整備済
脱臭方式	活性炭吸着方式	同左	同左

(出典) 下水道事業のあらまし(令和5年度版) 熱海市公営企業部下水道課

南熱海幹線中継施設は、南熱海中継ポンプ場から送られた汚水を受ける施設となる。中継施設より、管路トンネル内の污水管を通り、自然流下で浄水管理センターに送水される。

図表 2.1-6 南熱海幹線管路トンネルの概要

位置	南熱海中継ポンプ場～浄水管理センター		
建設費累計	55億3,305万円		
供用開始	平成15年12月		
内容			
① 管路トンネル			
位置	熱海市上多賀字白石～和田浜南町		
建設費累計	43億2,360万円		
構造	内径 2.2m	長さ	3,007m
工法	泥水式シールド工法		



(出典) 下水道事業のあらまし(令和5年度版) 熱海市公営企業部下水道課

南熱海地区の汚水を南熱海幹線中継施設より浄水管理センターに送水するための管路トンネルとなる。トンネルの中に直径 450mm の污水管が敷設されている。

図表 2.1-7 寺山マンホールポンプ

位置 熱海市青葉町
建設費累計 2,500万円
供用開始 平成8年4月

主要施設

項目	基本計画	事業計画	整備済
送水ポンプ	0.5m ³ /min×4.0m×1.5kW 2台	同左	同左

(出典) 下水道事業のあらまし(令和5年度版)熱海市公営企業部下水道課

青葉町地区の汚水を浄水管理センターに送水するための施設となる。当ポンプ場は無人施設であり、遠方監視システムにより、浄水管理センターで24時間監視している。

公共下水道事業の全体計画及び事業計画等の概要及び一般平面図を次表以降に示す。

図表 2.1-8 計画概要

項 目			熱海処理区			泉処理区		
			全体計画	既事業計画	今回事業計画	全体計画	既事業計画	今回事業計画
1. 目 標 年 次			令和12年	令和3年	令和10年	令和12年	令和3年	令和10年
2. 計 画 区 域 (ha)			1,041.4	918.7	924.4	106.0	104.8	104.8
3. 計画人口	(1)常住		23,900	25,100	21,700	1,300	1,700	1,400
(人)	(2)観光・宿泊(日最大)		12,500	11,800	11,800	600	600	600
4. 汚水量 原単位 (L/人・日)	生活 汚水量	日 平 均	350	350	350	350	350	350
		日 最 大	470	470	470	470	470	470
		時間最大	710	710	710	710	710	710
	営業 汚水量	日 平 均	160	160	160	160	160	160
		日 最 大	210	210	210	210	210	210
		時間最大	320	320	320	320	320	320
	観光 汚水量	日 平 均	1,100	1,100	1,100	590	590	590
		日 最 大	1,100	1,100	1,100	590	590	590
		時間最大	2,200	2,200	2,200	1,180	1,180	1,180
	地下水量	日 平 均						
		日 最 大	100	100	100	100	100	100
		時間最大						
5. 計画 汚水量 (m3/日)	生活 汚水量	日 平 均	8,365	8,785	7,595	455	595	490
		日 最 大	11,233	11,797	10,199	611	799	658
		時間最大	16,969	17,821	15,407	923	1,207	994
	営業 汚水量	日 平 均	3,824	4,016	3,472	208	272	224
		日 最 大	5,019	5,271	4,557	273	357	294
		時間最大	7,648	8,032	6,944	416	544	448
	観光 汚水量	日 平 均	8,580	8,140	8,140	236	236	236
		日 最 大	13,750	12,980	12,980	354	354	354
		時間最大	27,500	25,960	25,960	708	708	708
	温泉 排水量	日 平 均						
		日 最 大	11,771	10,332	10,391	—	—	—
		時間最大						
	地下水量	日 平 均	2,390	2,510	2,170	130	170	140
		日 最 大						
	その他 排水量	日 平 均						
		日 最 大	793	700	705	257	254	254
		時間最大						
	計	日 平 均	35,723	34,483	32,473	1,286	1,527	1,344
		日 最 大	44,956	43,590	41,002	1,625	1,934	1,700
		時間最大	67,071	65,355	61,577	2,434	2,883	2,544
6. 処理場 (m3/日)	処理能力	A系	25,000	25,000	25,000			
		B系	20,000	20,000	20,000	—	—	—
		計	45,000	45,000	45,000			
	既設能力	A系	25,000	25,000	25,000			
		B系	20,000	20,000	20,000	—	—	—
		計	45,000	45,000	45,000			

(出典) 熱海市公共下水道 (変更) 協議申出書 令和3年度

1 巻 末 資 料 設 計 計 算 書

1.1 熱海市浄水管理センター容量計算

1.1.1 計画概要

a) 基本事項

項目	全体計画(R12)	事業計画(R10)
名 称	熱海市浄水管理センター	同左
位 置	熱海市和田浜南町	同左
敷地面積及び 計画地盤高	約 582 アール T.P. +4.00m	同左
周囲の土地利用	未指定	同左
下水排除方式	分流式	同左
処 理 方 法	下水処理 標準活性汚泥法 汚泥処理 濃縮—機械脱水—場外搬出	同左
放 流 先 名 称	相模灘 水質環境基準等の設定 海域 A(イ)	同左

b) 計画下水量

1) 場内ポンプ場計画下水量

種別 名称	全体計画(R12)				事業計画(R10)			
	m³/日	m³/時	m³/分	m³/秒	m³/日	m³/時	m³/分	m³/秒
計画 1 日平均汚水量	29,100	1,213	20.21	0.337	28,400	1,183	19.72	0.329
計画 1 日最大汚水量	36,900	1,538	25.63	0.427	36,100	1,504	25.07	0.418
計画時間最大汚水量	55,900	2,329	38.82	0.647	54,700	2,279	37.99	0.633

2) 南熱海中継ポンプ場から圧送する計画下水量

種別 名称	全体計画(R12)				事業計画(R10)			
	m³/日	m³/時	m³/分	m³/秒	m³/日	m³/時	m³/分	m³/秒
計画 1 日平均汚水量	6,700	279	4.65	0.078	4,100	171	2.85	0.048
計画 1 日最大汚水量	8,100	338	5.63	0.094	5,000	208	3.47	0.058
計画時間最大汚水量	11,300	471	7.85	0.131	7,000	292	4.86	0.081

3) 計画下水量総括表 (第 A 系列+第 B 系列)

種別 名称	全体計画(R12)				事業計画(R10)			
	m³/日	m³/時	m³/分	m³/秒	m³/日	m³/時	m³/分	m³/秒
計画 1 日平均汚水量	35,800	1,492	24.86	0.414	32,500	1,354	22.57	0.376
計画 1 日最大汚水量	45,000	1,875	31.25	0.521	41,100	1,713	28.54	0.476
計画時間最大汚水量	67,200	2,800	46.67	0.778	61,700	2,571	42.85	0.714

(出典) 熱海市公共下水道 (変更) 協議申出書 令和 3 年度

4) 水処理系統別計画下水量

名称		種別	全体計画(R12)				事業計画(R10)			
			m ³ /日	m ³ /時	m ³ /分	m ³ /秒	m ³ /日	m ³ /時	m ³ /分	m ³ /秒
計画 1 日平均汚水量	A 系列		19,889	829	13.81	0.230	16,685	695	11.59	0.193
	B 系列		15,911	663	11.05	0.184	15,815	659	10.98	0.183
	計		35,800	1,492	24.86	0.414	32,500	1,354	22.57	0.376
計画 1 日最大汚水量	A 系列		25,000	1,042	17.36	0.289	21,100	879	14.65	0.244
	B 系列		20,000	833	13.89	0.232	20,000	833	13.89	0.232
	計		45,000	1,875	31.25	0.521	41,100	1,713	28.54	0.476
計画時間最大汚水量	A 系列		37,333	1,556	25.93	0.432	31,676	1,320	22.00	0.367
	B 系列		29,867	1,244	20.74	0.346	30,024	1,251	20.85	0.348
	計		67,200	2,800	46.67	0.778	61,700	2,571	42.85	0.714

※ 流入下水量の A 系列及び B 系列への配分は、B 系列の処理能力(最終沈殿池における水面積負荷基準値 20m³/m²・日を上回らない条件における処理能力)について計画 1 日最大汚水量 20,000m³/日とし、A 系列の計画 1 日最大汚水量を 45,000-20,000=25,000m³/日とする。計画 1 日平均汚水量及び計画時間最大汚水量については計画 1 日最大汚水量の系列間の流量比率より設定する。

5) 計画流入水質、処理効果、計画放流水質

項目		全体計画(R12)		事業計画(R10)	
		BOD	SS	BOD	SS
計画流入下水水質(mg/L) ※返流水無し		150	150	160	160
施設設計下水水質(mg/L) ※返流水有り		187	187	202	202
最初沈殿池	除去率(%)	40	50	40	50
	流出水(mg/L)	112	94	121	101
二次処理施設	除去率(%)	87	75	87	76
	流出水(mg/L)	15	24	16	25
総合除去率(%)		92	87	92	88

(出典) 熱海市公共下水道 (変更) 協議申出書 令和 3 年度

1.流入下水計画諸元

日最大汚水量	45,000 m ³ /日
水質	150 mg/L

2.各種汚泥計画諸元

種別	除去率 回収率 (%)	含水率 (%)
初沈汚泥	50	98.5
余剰汚泥	75	99.2
混合汚泥	80	98.9
重力濃縮汚泥	80	98.0
脱水汚泥	95	75.0

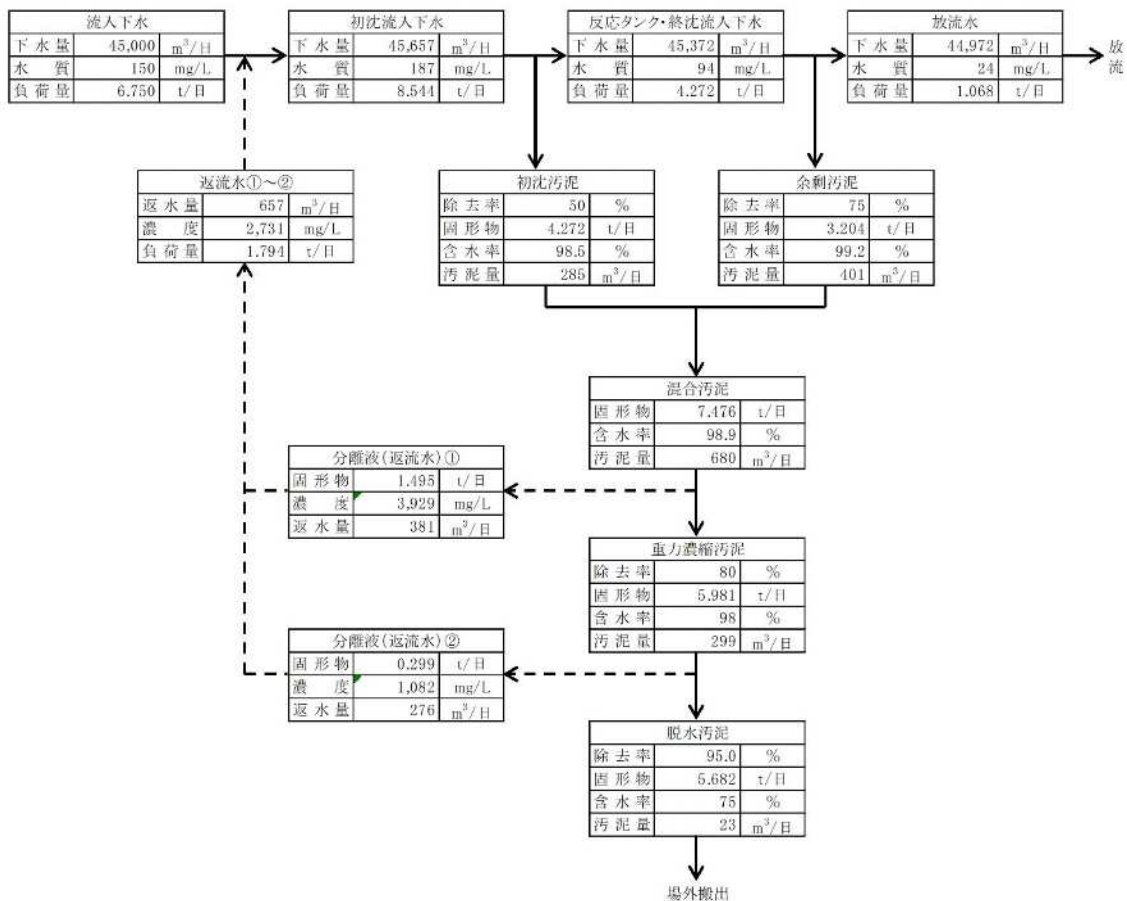


図-1 固形物収支 (全体計画)

(出典) 熱海市公共下水道 (変更) 協議申出書 令和3年度

1.流入下水計画諸元

日最大汚水量	41,100 m ³ /日
水質	160 mg/L

2.各種汚泥計画諸元

種別	除去率 回収率 (%)	含水率 (%)
初沈汚泥	50	98.5
余剰汚泥	77	99.2
混合汚泥	80	98.9
重力濃縮汚泥	80	98.0
脱水汚泥	95	75.0

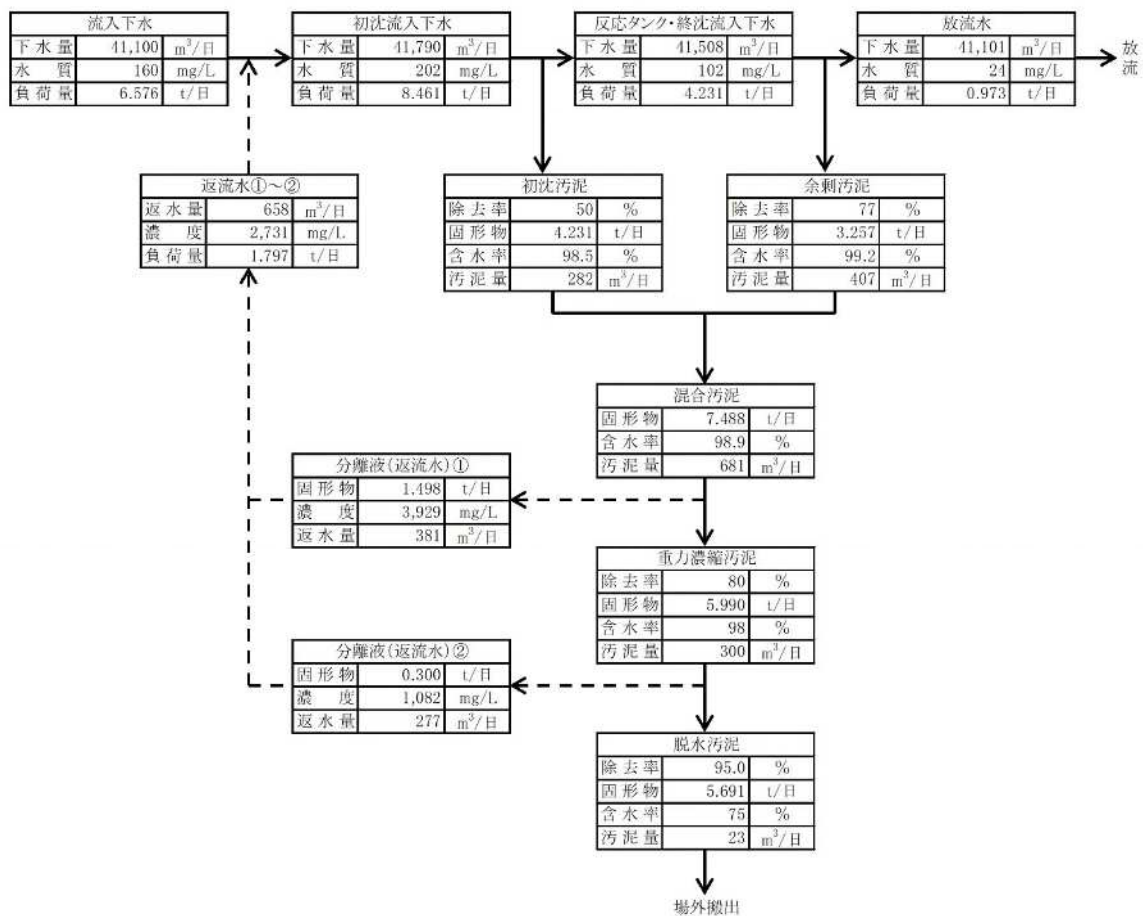


図-2 固形物収支（事業計画）

（出典）熱海市公共下水道（変更）協議申出書 令和3年度

1.2 伊豆山浜中継ポンプ場容量計算

a) 計画概要

1) 基本事項

項目	全体計画(R12)	事業計画(R10)
名 称	伊豆山浜中継ポンプ場	同左
位 置	熱海市伊豆山字浜	同左
敷地面積及び	約9アール	同左
計画地盤高	T.P+8.38m	同左
周囲の土地利用	近隣商業地域	同左

2) 計画下水量

伊豆山浜中継ポンプ場の対象流域は伊豆山分区とする。

種別 名称	全体計画(R12)			事業計画(R10)		
	m ³ /日	m ³ /分	m ³ /秒	m ³ /日	m ³ /分	m ³ /秒
計画1日平均汚水量	5,216	3.62	0.060	4,299	2.99	0.050
計画1日最大汚水量	6,157	4.28	0.071	5,079	3.53	0.059
計画時間最大汚水量	8,502	5.90	0.098	6,989	4.85	0.081

1.3 南熱海中継ポンプ場容量計算

a) 計画概要

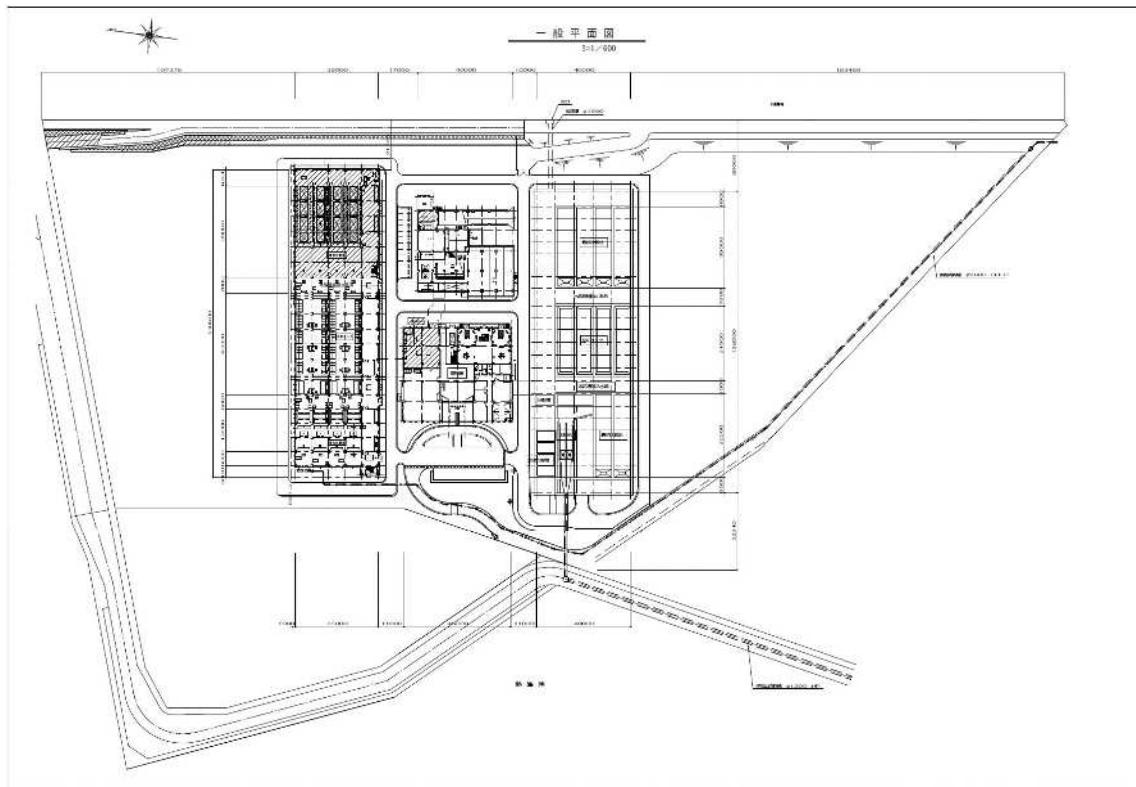
1) 基本事項

項目	全体計画(R12)	事業計画(R10)
名 称	南熱海中継ポンプ場	同左
位 置	熱海市上多賀字奈良川地先	同左
敷地面積	約25アール	同左
計画地盤高	T.P+3.40m	同左
周囲の土地利用	未指定	同左

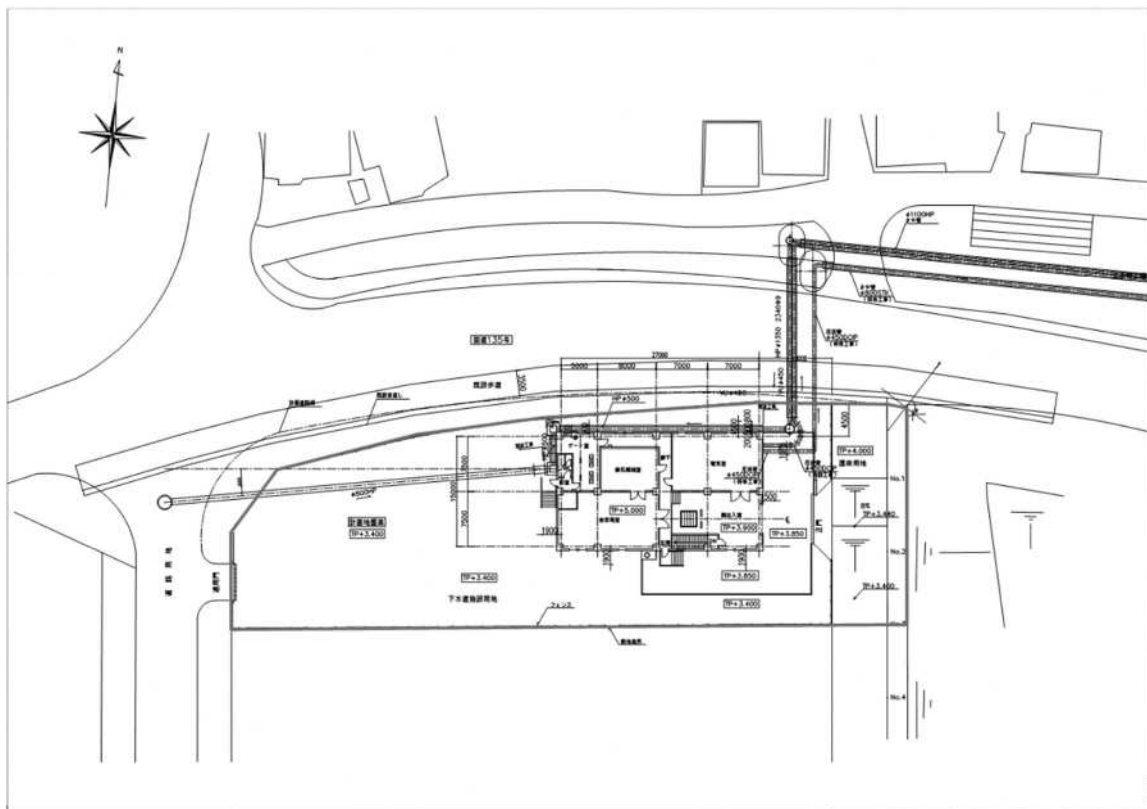
2) 計画下水量

種別 名称	全体計画(R12)			事業計画(R10)		
	m ³ /日	m ³ /分	m ³ /秒	m ³ /日	m ³ /分	m ³ /秒
計画1日平均汚水量	6,681	4.64	0.077	4,097	2.85	0.048
計画1日最大汚水量	8,099	5.62	0.094	4,997	3.47	0.058
計画時間最大汚水量	11,219	7.79	0.130	6,947	4.82	0.080

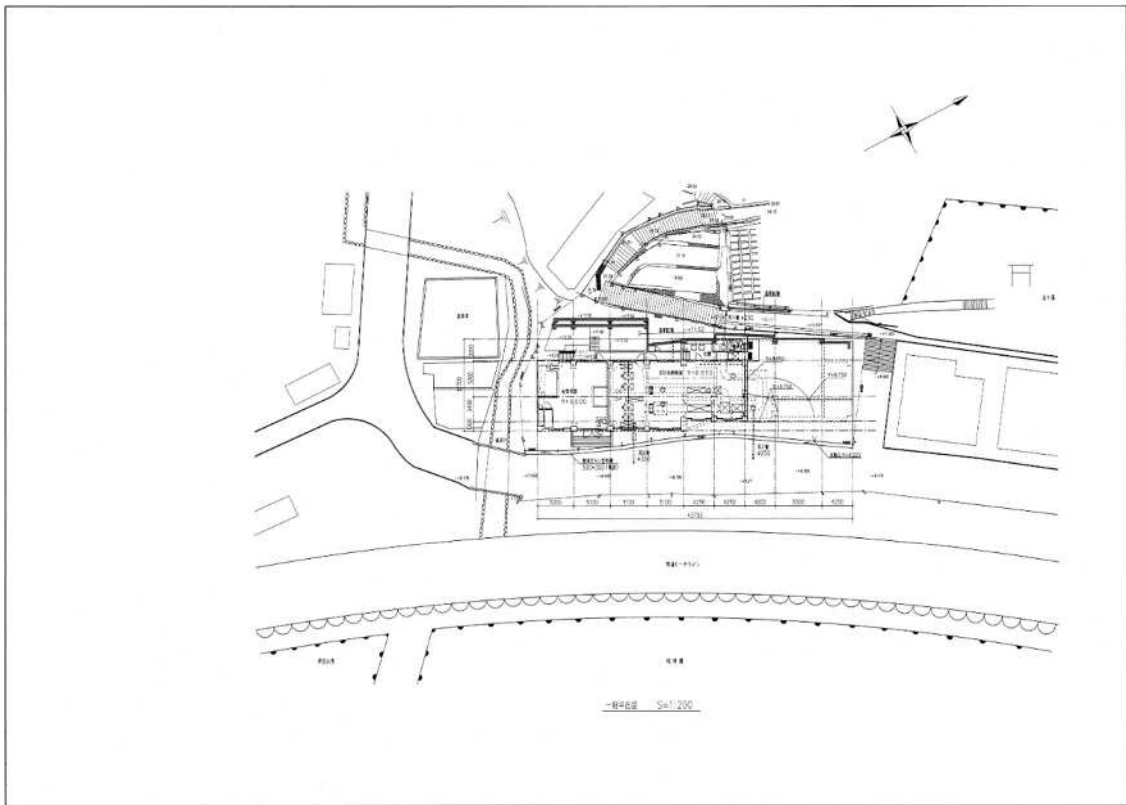
(出典) 熱海市公共下水道 (変更) 協議申出書 令和3年度



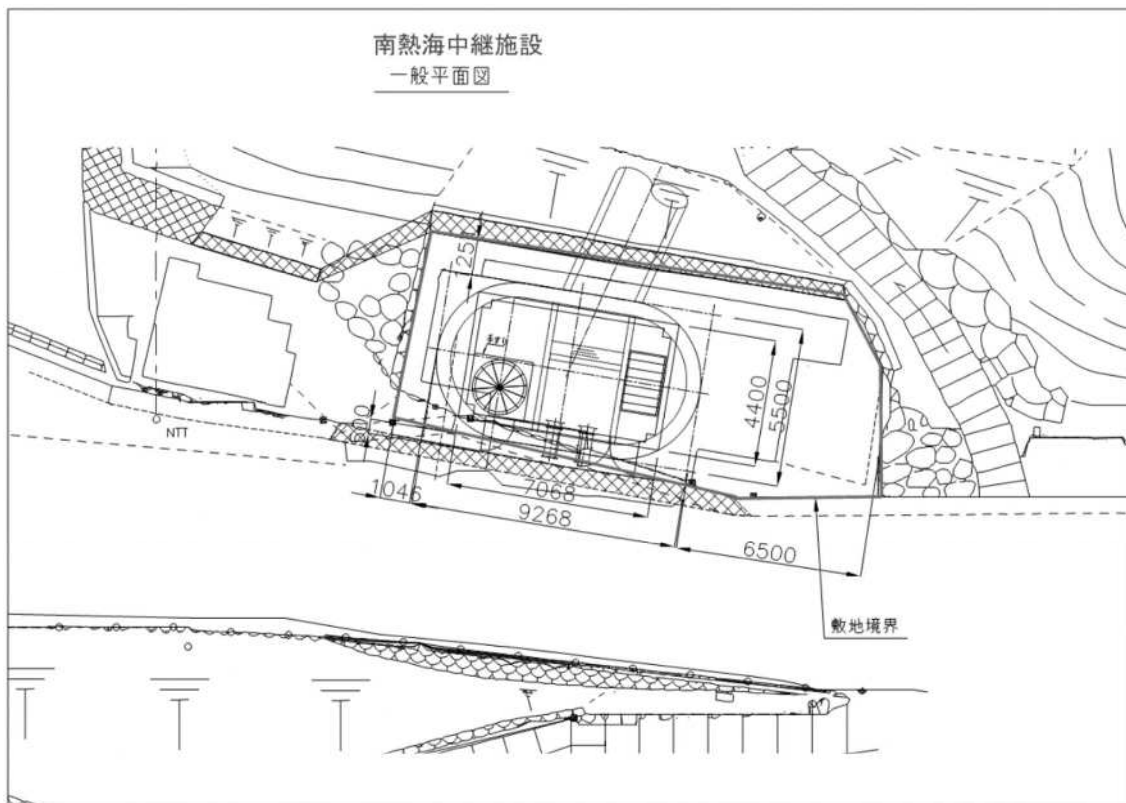
熱海市浄水管理センター 一般平面図



南熱海中継ポンプ場 一般平面図



伊豆山浜中継ポンプ場 一般平面図



南熱海中継施設 一般平面図

3. 下水道事業の状況

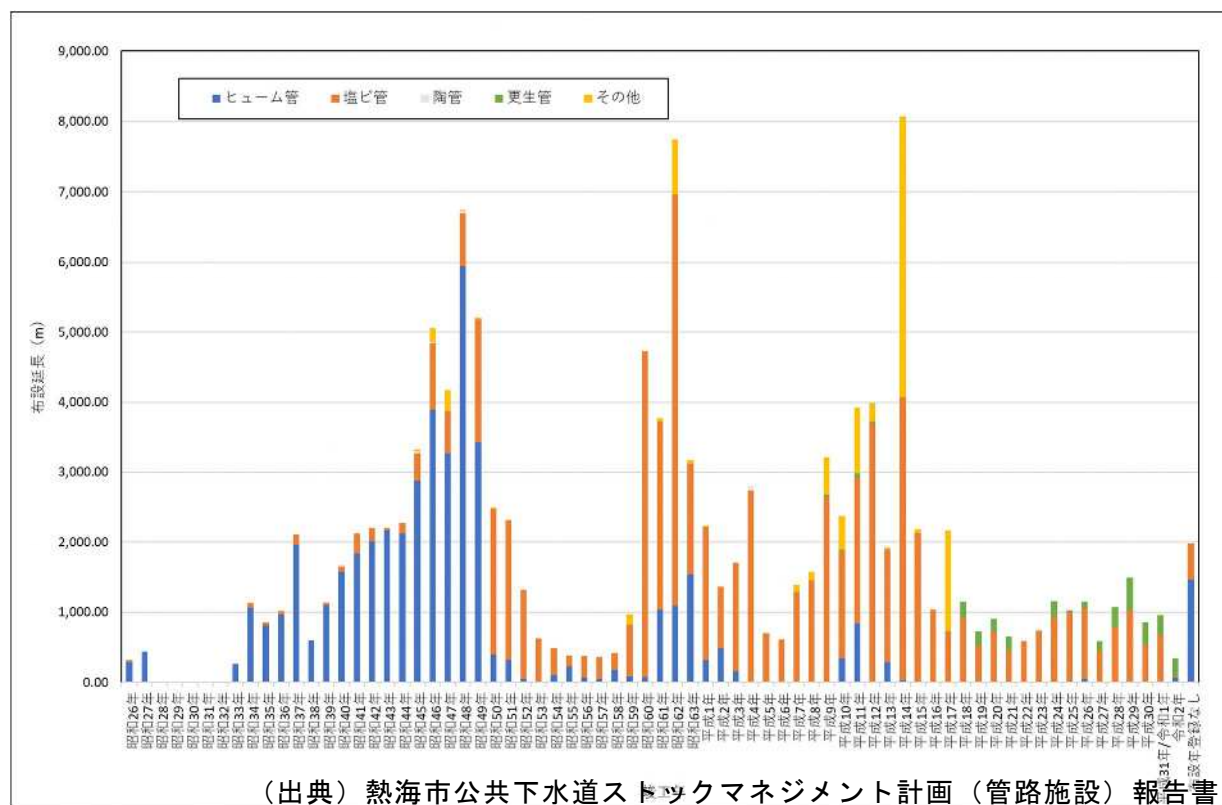
3.1 施設に関する状況

(1) 管路

本市は、昭和 26 年に事業着手しており、2020 年現在 69 年が経過している。市内には、廃止管、個人管等を合わせて下水道台帳システムで管理しているが、ストックマネジメント計画では、これらの種別を除き、公共下水道の管路を対象として整理されている。

管種別年度別延長を、図表 3.1-1、3.1-2 図表 3.1-1 に示す。総延長¹は、128,809.59m となる。

昭和 50 年前後まではヒューム管が多く、以降の年次は、塩ビ管が多くを占める傾向となっており、陶管等の他管種はあまり見られない。なお、平成 14 年において、その他の延長が多くなっているのは、南熱海幹線の中継施設から浄水管理センターの管路布設工事によるものである。総延長 128,809.59m のうち、標準耐用年数 50 年を超過しているのが、現在で 21,715.02m (約 16.9%) であり、10 年後には 50,537.27m (約 39.2%)、20 年後には 75,692.22m (約 58.8%) と増加していくことから、計画的に調査を実施し、調査結果に基づき対策を行ってゆく必要がある。



図表 3.1-1 市全域年度別管種別延長

¹ 個人管等を含む延長は、132,377.74m

図表 3.1-2 市全域年度別管種別延長（一覧）

(単位:m)

熱海市全域									
竣工年	竣工年(西暦)	経過年	ヒューム管	塩ビ管	陶管	更生管	その他	合計	延長累計
昭和26年	1951	69	291.40	24.70	0.00	0.00	0.00	316.10	316.10
昭和27年	1952	68	438.30	0.00	0.00	0.00	0.00	438.30	754.40
昭和28年	1953	67	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	754.40
昭和29年	1954	66	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	754.40
昭和30年	1955	65	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	754.40
昭和31年	1956	64	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	754.40
昭和32年	1957	63	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	754.40
昭和33年	1958	62	266.60	0.00	0.00	0.00	0.00	266.60	1,021.00
昭和34年	1959	61	1,067.60	58.40	24.40	0.00	0.00	1,150.40	2,171.40
昭和35年	1960	60	814.75	33.25	0.00	0.00	10.67	858.67	3,030.07
昭和36年	1961	59	972.20	42.65	0.00	0.00	0.00	1,014.85	4,044.92
昭和37年	1962	58	1,968.30	143.20	0.00	0.00	0.00	2,111.50	6,156.42
昭和38年	1963	57	595.60	0.00	0.00	0.00	0.00	595.60	6,752.02
昭和39年	1964	56	1,102.15	37.05	0.00	0.00	0.00	1,139.20	7,891.22
昭和40年	1965	55	1,579.50	66.90	34.80	0.00	0.00	1,681.20	9,572.42
昭和41年	1966	54	1,833.20	294.15	0.00	0.00	0.00	2,127.35	11,699.77
昭和42年	1967	53	2,017.40	185.40	0.00	0.00	10.00	2,212.80	13,912.57
昭和43年	1968	52	2,167.00	39.10	0.00	0.00	0.00	2,206.10	16,118.67
昭和44年	1969	51	2,125.75	149.60	0.00	0.00	0.00	2,275.35	18,394.02
昭和45年	1970	50	2,874.60	394.25	27.85	0.00	24.30	3,321.00	21,715.02
昭和46年	1971	49	3,896.60	949.15	17.80	0.00	196.40	5,059.95	26,774.97
昭和47年	1972	48	3,265.65	610.00	2.40	0.00	296.60	4,174.65	30,949.62
昭和48年	1973	47	5,942.55	749.45	34.20	0.00	10.95	6,737.15	37,686.77
昭和49年	1974	46	3,428.45	1,749.50	0.00	0.00	29.50	5,207.45	42,894.22
昭和50年	1975	45	397.75	2,077.35	0.00	0.00	18.00	2,493.10	45,387.32
昭和51年	1976	44	317.75	2,003.50	0.00	0.00	0.00	2,321.25	47,708.57
昭和52年	1977	43	50.20	1,265.50	16.00	0.00	0.00	1,331.70	49,040.27
昭和53年	1978	42	0.00	626.10	0.00	0.00	0.00	626.10	49,666.37
昭和54年	1979	41	106.80	375.85	0.00	0.00	0.00	482.65	50,149.02
昭和55年	1980	40	222.35	165.90	0.00	0.00	0.00	388.25	50,537.27
昭和56年	1981	39	70.75	307.10	0.00	0.00	0.00	377.85	50,915.12
昭和57年	1982	38	46.10	319.85	0.00	0.00	0.00	365.95	51,281.07
昭和58年	1983	37	178.90	240.00	0.00	0.00	0.00	418.90	51,699.97
昭和59年	1984	36	87.20	736.25	0.00	0.00	143.35	966.80	52,666.77
昭和60年	1985	35	77.40	4,641.20	0.00	0.00	14.70	4,733.30	57,400.07
昭和61年	1986	34	1,039.60	2,683.00	0.00	0.00	47.45	3,770.05	61,170.12
昭和62年	1987	33	1,089.15	5,871.20	0.00	0.00	782.50	7,742.85	68,912.97
昭和63年	1988	32	1,542.60	1,581.80	0.00	0.00	54.35	3,178.75	72,091.72
平成1年	1989	31	320.50	1,898.10	0.00	0.00	14.30	2,232.90	74,324.62
平成2年	1990	30	486.40	863.90	0.00	0.00	17.30	1,367.60	75,692.22
平成3年	1991	29	158.90	1,542.90	0.00	0.00	0.00	1,701.80	77,394.02
平成4年	1992	28	0.00	2,738.50	61.50	0.00	0.00	2,800.00	80,194.02
平成5年	1993	27	0.00	698.00	0.00	0.00	0.00	698.00	80,892.02
平成6年	1994	26	0.00	610.30	0.00	0.00	6.60	616.90	81,508.92
平成7年	1995	25	0.00	1,291.40	0.00	0.00	99.10	1,390.50	82,899.42
平成8年	1996	24	0.00	1,458.95	0.00	0.00	119.50	1,578.45	84,477.87
平成9年	1997	23	3.60	2,641.17	0.00	26.40	540.20	3,211.37	87,689.24
平成10年	1998	22	350.20	1,520.00	0.00	21.00	486.00	2,377.20	90,066.44
平成11年	1999	21	838.50	2,091.10	0.00	53.30	934.30	3,917.20	93,983.64
平成12年	2000	20	0.00	3,704.00	0.00	19.70	266.45	3,990.15	97,973.79
平成13年	2001	19	289.65	1,600.35	0.00	0.00	32.65	1,922.65	99,896.44
平成14年	2002	18	26.60	4,044.35	0.00	0.00	4,004.36	8,075.31	107,971.75
平成15年	2003	17	0.00	2,137.05	0.00	0.00	56.22	2,193.27	110,165.02
平成16年	2004	16	0.00	1,034.90	0.00	0.00	0.00	1,034.90	111,199.92
平成17年	2005	15	0.00	710.65	0.00	18.50	1,438.85	2,168.00	113,367.92
平成18年	2006	14	0.00	926.85	0.00	221.50	0.00	1,148.35	114,516.27
平成19年	2007	13	0.00	525.55	0.00	206.20	0.00	731.75	115,248.02
平成20年	2008	12	0.00	732.00	0.00	175.20	0.00	907.20	116,155.22
平成21年	2009	11	0.00	452.42	0.00	199.70	0.00	652.12	116,807.34
平成22年	2010	10	0.00	586.61	0.00	0.00	0.00	586.61	117,393.95
平成23年	2011	9	0.00	741.73	0.00	0.00	0.00	741.73	118,135.68
平成24年	2012	8	0.00	932.06	0.00	225.35	0.00	1,157.41	119,293.09
平成25年	2013	7	11.55	986.25	0.00	30.00	0.00	1,027.80	120,320.89
平成26年	2014	6	45.00	1,005.70	0.00	95.80	0.00	1,146.50	121,467.39
平成27年	2015	5	0.00	449.65	0.00	138.00	0.00	587.65	122,055.04
平成28年	2016	4	0.00	790.35	0.00	284.20	0.00	1,074.55	123,129.59
平成29年	2017	3	0.00	1,029.40	0.00	462.70	0.00	1,492.10	124,621.69
平成30年	2018	2	0.00	530.90	0.00	331.90	0.00	862.80	125,484.49
平成31年/令和1年	2019	1	0.00	683.45	0.00	269.20	8.91	961.56	126,446.05
令和2年	2020	0	67.50	31.10	0.00	245.20	0.00	343.80	126,789.85
布設年登録なし			1,460.30	521.44	38.00	0.00	0.00	2,019.74	128,809.59
合計			45,932.85	69,932.43	256.95	3,023.85	9,663.51	128,809.59	-

(出典) 熱海市公共下水道ストックマネジメント計画（管路施設）報告書

過年度の調査延長および改築延長を図表 3.1-3 に示す。

なお、各延長は、当時の延長を示しており、いずれも熱海分区内を対象として行っている。

図表 3.1-3 過年度調査・改築実績の整理

過年度業務	テレビカメラ調査実施年度		調査時延長(m)	改築実績延長(m)
第1期 長寿命化計画	平成19～22年度	2007～2010年	6,199.05	600.95
第2期 長寿命化計画	平成26年度	2014年	10,477.47	1,660.00
	平成27年度	2015年	578.20	
第1期 ストックマネジメント計画	令和元年度	2019年	12,479.40	-
	令和2年度	2020年	473.50	
合計			30,207.62	2,260.95

（出典）熱海市公共下水道ストックマネジメント計画（管路施設）報告書

※第1期ストックマネジメント計画における調査延長において、調査不可延長を考慮した調査済み延長はL=12,743.65mである。

※令和2年度調査延長L=473.50mのうち、L=173.80は巡視によるものである。

また、令和2年度時点の下水道台帳における、調査済み延長および改築済み延長を図表 3.1-4 に示す。要改築路線である緊急度Ⅰ・Ⅱについては、一部改築を行っていない路線がある。

図表 3.1-4 過年度調査・改築実績の整理（台帳ベース）

過年度業務	テレビカメラ調査実施年度		調査延長（m）	緊急度	要改築判定延長（m）	改築済み延長(m)	未改築延長(m)
第1期 長寿命化計画	平成19～22年度	2007～2010年	6,199.05	I	231.15	231.15	0.00
				II	1,813.65	522.10	1,291.55
第2期 長寿命化計画	平成26年度	2014年	10,464.57	I	341.40	258.30	83.10
				II	2,916.85	1,101.70	1,815.15
	平成27年度	2015年	578.20	I	198.00	198.00	0.00
				II	260.20	59.80	200.40
第1期 ストックマネジメント計画	令和元年度	2019年	12,479.40	I	256.60	本計画検討	本計画検討
				II	4,400.10	本計画検討	本計画検討
	令和2年度	2020年	473.50	I	173.80	本計画検討	本計画検討
				II	123.50	本計画検討	本計画検討
合計			30,194.72	—	10,715.25	2,371.05	3,390.20

（出典）熱海市公共下水道ストックマネジメント計画（管路施設）報告書

※上記調査・改築済み延長は当時の台帳に基づくものであり、布設替えによる台帳更新により実績とは異なる場合がある。

直近5か年における改築実績を図表 3.1-5～3.1-7 に示す。

図表 3.1-5 管渠改築（更生工法）実績

管渠改築（更生）

年度	工事名	設計額（円）	契約額（円）	延長(m)	工法	管径
R1	桃山幹線⑧外1線	18,429,400	17,539,500	160.00	更生	300,250
	糸川幹線⑥外1線	9,739,400	9,255,400	98.10	更生	300,250
	和田川幹線②	1,650,000	1,629,100	11.10	更生	300
	計	29,818,800	28,424,000	269.20		
R2	桃山1号幹線⑨	3,226,300	3,206,500	39.80	更生	250
	田原枝線①外2線	9,183,900	9,024,400	88.40	更生	300,250,200
	初川1号枝線④-2外3線	12,595,000	12,287,000	102.20	更生	400,300,250
	桃山1号幹線⑨（その4）	3,476,000	3,194,400	14.80	更生	300,250
	計	28,481,200	27,712,300	245.20		
R3	田原枝線①-18外1線	6,072,000	5,772,800	63.50	更生	250
	桃山枝線⑧-3	13,233,000	12,579,600	102.60	更生	250
	桃山幹線⑧	13,101,000	12,523,500	113.60	更生	300
	桃山幹線⑧（その2）	14,124,000	13,525,600	109.00	更生	300
	初川1号幹線④	4,279,000	4,235,000	38.00	更生	250
	糸川枝線⑥-17	4,411,000	4,375,800	47.50	更生	200
	計	55,220,000	53,012,300	474.20		
R4	和田川幹線②	16,027,000	15,203,100	120.30	更生	300,200
	田原幹線①外1線	12,650,000	12,263,900	88.00	更生	400,300,250
	初川1号幹線④外4線	14,729,000	13,960,100	117.80	更生	250,200
	和田川1号幹線③外1線	11,583,000	11,008,800	94.90	更生	250,200
	桃山幹線⑧	12,529,000	12,042,800	95.70	更生	300
	桃山幹線⑧（その2）	7,205,000	6,988,300	36.90	更生	300
	計	74,723,000	71,467,000	553.60		
R5	田原幹線①	6,435,000	6,209,500	10.02	更生	800
	和田川枝線②-8	8,745,000	8,453,500	82.40	更生	200
	計	15,180,000	14,663,000	92.42		

（出典）契約実績より

図表 3.1-6 管渠改築（布設替）実績

管渠改築（布設替）

年度	工事名	設計額（円）	契約額（円）	延長(m)	工法	管径
R1	田原枝線①-31	3,125,520	3,015,360	11.70	布設替	VU200
	桃山1号幹線⑨	1,905,200	1,775,400	5.40	布設替	VU300
	計	5,030,720	4,790,760	17.10		
R2	桃山枝線⑧-6	1,325,500	1,261,700	22.25	布設替	VU150
	桃山1号幹線⑨（その2）	3,603,600	3,368,200	10.60	布設替	VU250
	田原枝線①	1,753,400	1,732,500	4.00	布設替	VU200
	和田川1号幹線③	7,953,000	7,034,500	32.30	布設替	VU250
	和田川幹線②	2,134,000	2,055,900	7.20	布設替	VU300
	桃山枝線⑧-3-1	2,354,000	2,332,000	9.55	布設替	VU250
	計	19,123,500	17,784,800	85.90		
R3	逢初川幹線⑪	2,200,000	2,120,800	17.60	布設替	VU200
	計	2,200,000	2,120,800	17.60		
R4	桃山1号幹線⑨	6,149,000	6,039,000	24.95	布設替	VU250
	計	6,149,000	6,039,000	24.95		
R5	二級河川逢初川総合流域防災対策工事に伴う	2,046,000	2,035,000	17.40	布設替	VU200
	計	2,046,000	2,035,000	17.40		

（出典）契約実績より

図表 3.1-7 マンホール蓋改築実績

年度	工事名	設計額 (円)	契約額 (円)	箇所	タイプ
R1	和田浜南町地内	295,920	295,920	1	T-14
	東海岸町地内	2,858,760	2,856,600	2	T-14親子蓋
	西熱海町一丁目地内	1,324,080	1,166,400	7	T-25
	銀座町地内	317,520	317,520	1	T-14
	西熱海町一丁目地内 (その2)	2,887,500	2,640,000	16	T-14
	市道桜ヶ丘通り線外2線配水管・配湯管布設替工事に伴う	1,098,900	1,045,000	6	T-14
	梅園町地内	1,386,000	1,320,000	4	T-25
	市道小嵐線外1線配水管・送配湯管布設替工事に伴う	987,800	987,800	5	T-25
	市道渚通り2号線外5線配水管布設替工事に伴う	2,418,900	2,299,000	12	T-14
	渚町地内	908,600	908,600	4	T-14
	東海岸町地内 (その2)	297,000	297,000	1	T-14
	熱海字奥ノ沢地内	590,700	590,700	3	T-25
	和田町外3地内 改築更新工事	2,952,400	2,695,000	10	T-14
	春日町外1地内 改築更新工事	1,249,600	1,166,000	4	T-25 : 3, T-14 : 1
	田原本町地内 改築更新工事	954,800	954,800	3	T-14
	東海岸町地内 改築更新工事	673,200	673,200	1	T-14
	計	21,201,680	20,213,540	80	
R2	市道温泉通り水口線バリアフリー整備工事に伴う	990,000	990,000	5	T-25
	咲見町地内	484,000	484,000	2	T-25
	清水町地内	506,000	506,000	2	T-14
	熱海字滝知山地内	2,674,100	2,530,000	10	T-25
	和田町地内	405,900	405,900	2	T-14
	渚町地内	453,200	453,200	2	T-14
	桃山町地内	980,100	980,100	4	T-25
	田原本町外1地内	2,489,300	2,371,600	7	T-25
	中央町地内	264,000	264,000	1	T-25
	桃山町地内 (その2)	524,700	524,700	2	T-25
	桃山町地内 (その3)	374,000	374,000	1	T-14
	西熱海町二丁目地内	990,000	990,000	3	T-25
	青葉町地内	849,200	849,200	4	T-14
	水口町外2地内	2,783,000	2,750,000	14	T-25 : 1, T-14 : 13
	東海岸町地内	957,000	957,000	3	T-25 : 1, T-14 : 2
	水口町外1地内	1,243,000	1,210,000	6	T-14
	西山町地内	841,500	841,500	3	T-25小型 : 1, T-14 : 2
	昭和町地内	502,700	502,700	2	T-14
	計	18,311,700	17,983,900	73	

(出典) 契約実績より

図表 3.1-7 マンホール蓋改築実績（続き）

年度	工事名	設計額（円）	契約額（円）	箇所	タイプ
R3	梅園町地内	1,573,000	1,540,000	8	T-14
	田原本町地内	242,000	242,000	1	T-14
	清水町地内	209,000	209,000	1	T-14
	青葉町地内	2,486,000	2,200,000	10	T-14
	桜木町地内	792,000	792,000	4	T-14
	相の原町地内	1,936,000	1,859,000	7	T-25 : 5, T-14 : 2
	西山町地内	1,177,000	1,144,000	4	T-25
	伊豆山地内	4,268,000	4,180,000	15	T-14
	桜木町地内（その 2）	792,000	792,000	4	T-14
	西熱海町二丁目地内	2,904,000	2,860,000	9	T-25
	銀座町地内	475,200	475,200	2	T-14
	渚町地内	444,400	444,400	2	T-14
	青葉町地内（その 2）	419,100	419,100	2	T-14
	計	17,717,700	17,156,700	69	
R4	中央町地内	990,000	990,000	2	T-25
	田原幹線①外 3 線	8,976,000	8,690,000	28	T-14 : 24, T-8 : 3 T-14 ILB : 1
	青葉町地内	1,760,000	1,716,000	6	T-14
	桃山町地内	658,900	658,900	2	T-14
	相の原町地内	2,673,000	2,530,000	8	T-25
	林ガ丘町地内	220,000	220,000	1	T-14
	緑ガ丘町地内	259,600	259,600	1	T-14
	渚町地内	968,000	968,000	3	T-14
	糸川 1 号幹線⑥-13	4,796,000	4,488,000	13	T-25
	和田川 1 号幹線③外 3 線	2,970,000	2,915,000	9	T-14
	青葉町地内（その 2）	258,500	258,500	1	T-14
	西山町地内	232,100	232,100	1	T-14
	計	24,762,100	23,926,100	75	
R5	咲見町地内	550,000	550,000	2	T-14
	咲見町地内（その 2）	556,600	556,600	2	T-14 小型 : 1, T-8 : 1
	桜木町地内	932,800	932,800	4	T-14
	桜木町地内（その 2）	829,400	829,400	3	T-14
	中央町地内	1,584,000	1,540,000	8	T-14 : 1, T-14 小型 : 7
	梅園町外 1 地内	3,432,000	3,304,400	9	T-25
	東海岸町地内	638,000	638,000	1	T-25
	田原本町地内	1,243,000	1,210,000	4	T-8
	緑ガ丘町地内	495,000	495,000	2	T-14
	東海岸町外 1 地内	986,700	986,700	2	T-25
	梅園町地内	990,000	990,000	5	T-14
	東海岸町地内（その 2）	789,800	789,800	3	T-8
	林ガ丘町地内	638,000	638,000	2	T-14
	計	13,665,300	13,460,700	47	

（出典）契約実績より

（２）処理場・ポンプ場

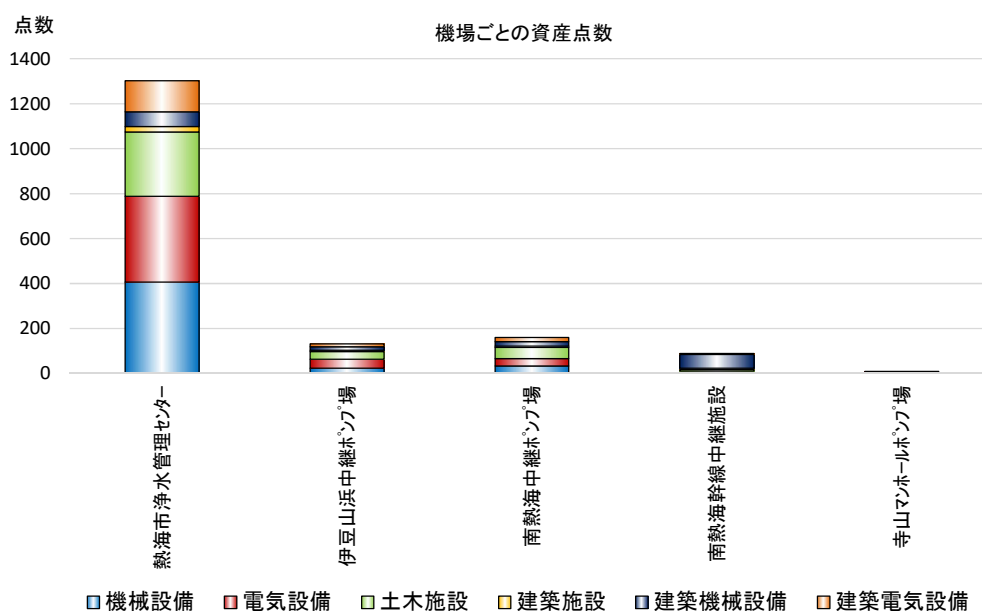
機場ごとの資産点数を図表 3.1-8, 3.1-9 に示す。全資産 1,692 点のうち、77%の資産を熱海市浄水管理センターが保有している。工種別にみると、プラント機械及びプラント電気設備が全体の 55%を占めていることが分かる。

単位：点数

図表 3.1-8 機場ごとの資産点数

施設名称	機械設備	電気設備	土木施設	建築施設	建築機械設備	建築電気設備	合計	割合
熱海市浄水管理センター	407	381	286	24	66	138	1302	77%
伊豆山浜中継ポンプ場	24	38	35	6	16	13	132	8%
南熱海中継ポンプ場	34	31	50	6	21	18	160	9%
南熱海幹線中継施設	3	8	7	5	61	5	89	5%
寺山マンホールポンプ場	3	6	0	0	0	0	9	1%
合計	471	464	378	41	164	174	1692	100%
割合	28%	27%	22%	2%	10%	10%	100%	

（出典）令和元年度 スtockマネジメント全体計画



図表 3.1-9 機場ごとの資産点数

（出典）令和元年度 スtockマネジメント全体計画

点検・調査に関する情報は、ストックマネジメント計画において、竣工図を前述の工事台帳を基に収集し、さらに、修繕履歴として機器整備履歴を収集し、その情報を活用している。次頁に、過去の機器整備履歴（抜粋）を示す。

図表 3.1-10 点検・調査に関する情報

大項目	中項目	収集の有無	資料名	備考
点 検 ・ 調 査	維持管理仕様書	○	維持管理業者への発注形態、維持管理形態の確認	
	維持管理報告書	○	維持管理月報、維持管理年報	
	維持管理年間業務報告書	○	平成30年度維持管理年間業務報告書	
	電気使用量通知	○	契約電力及び最大電力の確認	
	電気保安協会点検報告書	○	点検結果の確認	
	今後の修繕計画	○	-	
	故障情報	○	不具合・故障発生機器一覧表	

（出典）令和元年度 スtockマネジメント全体計画

図表 3.1-11 機器整備履歴（抜粋）

保守・修繕工事一覧

No.	年度	予算区分 処理区	工事名称	工事番号 請負業者	請負金額	着工日 竣工日	備考
1	2015	熱海処理区	熱海市浄水管理センターA系無停電電源装置修繕工事	2015 E-1修繕1 明電エンジニアリング	¥346,000	2015/09/14 2015/11/06	
2	2015	熱海処理区	熱海市浄水管理センター管理棟発電機設備修繕工事	2015 E-1修繕2 明電エンジニアリング	¥800,000	2016/02/15 2016/03/18	
3	2015	熱海処理区	熱海市浄水管理センターA系水処理棟発電機設備修繕工事	2015 E-1修繕3 明電エンジニアリング	¥631,000	2016/02/01 2016/03/18	
4	2015	熱海処理区	浄水管理センター可変速装置修繕工事 (No. 3, 4汚水ポンプVVVF盤)	2015 E-1修繕4 明電エンジニアリング	¥547,280	2016/02/01 2016/03/18	
5	2015	熱海処理区	浄水管理センター管理棟無停電電源装置修繕工事	2015 E-1修繕5 ㈲大川電気商会	¥3,834,000	2015/12/23 2016/03/14	
6	2015	熱海処理区	浄水管理センターNo.1汚泥脱水機現場操作盤修繕工事	2015 E-1修繕6 月島テクノメンテナンスサービス株式会社	¥2,160,000	2015/12/11 2016/01/29	
7	2015	熱海処理区	熱海市浄水管理センターNo.1排水タンク水位計修繕工事	2015 E-1修繕7 wing㈱	¥800,000	2015/11/01 2015/11/30	
8	2015	熱海処理区	熱海市南熱海中継ポンプ場電気設備修繕工事	2015 E-2修繕1 明電エンジニアリング	¥754,800	2016/02/01 2016/02/29	
9	2015	熱海処理区	熱海市伊豆山浜中継ポンプ場電気設備修繕工事	2015 E-2修繕2 明電エンジニアリング	¥394,800	2016/03/01 2016/03/28	
10	2015	熱海処理区	熱海市伊豆山浜中継ポンプ場負荷切替器動作不具合調整に伴う電気部品交換作業	2015 E-2修繕3 明電エンジニアリング	¥562,000	2016/03/01 2016/03/28	
11	2015	熱海処理区	熱海市浄水管理センター B系水処理棟屋上防水修繕工事(山側)	2016 A-1修繕1 櫻井工業㈱	¥800,000	2015/04/13 2015/06/30	
12	2015	熱海処理区	熱海市浄水管理センター B系水処理棟屋上防水修繕工事(海側)	2016 A-2修繕2 櫻井工業㈱	¥800,000	2015/04/13 2015/06/30	
13	2015	熱海処理区	熱海市浄水管理センター B系水処理棟屋上南側車両出入口修繕工事	2016 A-3修繕3 櫻井工業㈱	¥740,000	2015/04/13 2015/06/30	
14	2015	熱海処理区	熱海市浄水管理センター 管理棟建屋【東面】漏水修繕工事	2016 A-4修繕4 櫻井工業㈱	¥766,000	2015/03/24 2015/06/30	
15	2015	熱海処理区	熱海市浄水管理センター 管理棟建屋【北面】漏水修繕工事	2016 A-5修繕5 櫻井工業㈱	¥791,000	2015/03/24 2015/06/30	
16	2015	熱海処理区	熱海市浄水管理センター 管理棟 玄関ガラス窓クリーニング作業	2016 A-6修繕6	¥65,000	2015/05/08 2015/06/05	

1 / 3

(出典) 令和元年度 ストックマネジメント全体計画

印刷日: 2019.10.12

修繕・改築に関する情報については、ストックマネジメント業務において、竣工図および設計書、水処理・汚泥処理月報を収集し、その情報を活用している。

図表 3.1-12 修繕・改築に関する情報

大項目	中項目	収集の有無	資料名	備考
修繕・改築	過去の大規模修繕記録	○	管理センター、各ポンプ場で実施した記録、報告書	

熱海市浄水管理センターでは、昭和 55 年度に建設工事その 1 にて埋立て仕切ケーソン工事(護岸工事)に着手し、平成 9 年度の建設工事その 31 の場内整備で現行の施設が完成した。そして、本浄水管理センターでは、平成 12 年度の無停電電源装置更新工事をかわきりに、更新工事へ着手している。

また、本浄水管理センターでは、処理場の機能維持を目的とし適正な維持管理を適宜実施してきたが、昭和 60 年 7 月の供用開始から 26 年(平成 23 年度現在)が経過し経年劣化や陳腐化がみられるようになり効率的な改築更新を実施する必要性が生じたことから、平成 23 年度に、第一期長寿命化計画(事業計画期間 H24～H28 の 5 カ年)を策定し、また、平成 27 年度に第一期長寿命化計画の見直し(更新対象資産のみ直し)を行い、現在はストックマネジメント計画に基づき事業を鋭意実施しているところである。

熱海市浄水管理センターにおける過年度の工事实績を図表 3.1-13, 14 に示す。

図表 3.1-13 熱海市浄水管理センター工事履歴

No.	工事件名	対象施設	工事概要	工期	
				着手	完了
1	S55熱海市第二浄水管理センター建設工事	護岸	埋立仕切ケツ	1980/10/19	1981/7/31
2	S56熱海市第二浄水管理センター建設工事その2	護岸	埋立仕切ケツ	1981/8/19	1982/8/31
3	S57熱海市第二浄水管理センター建設工事その5	護岸	埋立仕切ケツ	1982/5/29	1982/11/10
4	S56熱海市第二浄水管理センター建設工事その3・4	護岸	枕基礎、鋼殻ケツ	1981/12/28	1982/12/25
5	S57熱海市第二浄水管理センター建設工事その6	水処理施設A系列	鋼殻ケツ	1982/7/21	1983/1/10
6	S57熱海市第二浄水管理センター建設工事その9	護岸	埋立仕切ケツ	1983/3/31	1983/5/20
7	S57熱海市第二浄水管理センター建設工事その7	水処理施設A系列	枕基礎	1982/12/8	1983/5/31
8	S57熱海市第二浄水管理センター建設工事その10	護岸	枕基礎	1983/5/11	1983/11/25
9	S57熱海市第二浄水管理センター建設工事その8	水処理施設A系列	鋼殻ケツ	1982/12/24	1983/12/7
10	S58熱海市第二浄水管理センター建設工事その11	護岸	護岸工	1983/5/11	1984/3/20
11	S58熱海市第二浄水管理センター建設工事その14	護岸	鋼殻ケツ曳航、沈設	1983/11/25	1984/3/20
12	S58熱海市第二浄水管理センター建設工事その15	護岸	護岸工	1983/12/24	1984/3/20
13	S58熱海市第二浄水管理センター建設工事その16	盛土	盛土工ほか	1983/12/24	1984/3/20
14	S58熱海市第二浄水管理センター建設工事その12	水処理施設A系列上屋	建築、建築機械、建築電気	1983/10/23	1984/10/31
15	S58熱海市第二浄水管理センター沈砂池設備工事	水処理施設A系列	沈砂池設備1式	1984/3/31	1984/12/15
16	S58熱海市第二浄水管理センター主ポンプ設備工事	水処理施設A系列	主ポンプ設備1式	1984/3/31	1984/12/15
17	S58熱海市第二浄水管理センター送風機設備工事	水処理施設A系列	送風機設備1式	1984/3/31	1984/12/15
18	S58熱海市第二浄水管理センター建設工事その13	連絡管廊、流入渠	連絡管廊、流入渠	1983/11/23	1985/1/31
19	S58熱海市第二浄水管理センター水処理設備工事	水処理施設A系列	最初沈殿池設備、エレーションタンク設備、最終沈殿池設備、汚泥ポンプ管弁設備、消毒設備、処理水設備各1式	1983/10/26	1985/3/18
20	S59熱海市第二浄水管理センター水処理設備工事その2	水処理施設A系列	汚泥濃縮設備、脱臭設備、電気設備(汚泥濃縮)、換気設備(建築機械)、給水設備(建築機械)各1式	1984/10/17	1985/3/18
21	S58熱海市第二浄水管理センター電気設備工事	水処理施設電気室	受変電設備 一式	1983/10/10	1985/3/18
22	S58熱海市第二浄水管理センター電気設備工事その2(高率)	水処理施設A系列	水処理設備(運転操作、計装、監視制御)一式、汚泥処理設備(運転操作、計装、監視制御)一式	1983/10/10	1985/3/18
23	S58熱海市第二浄水管理センター電気設備工事その2(低率)	水処理施設A系列	沈砂池設備(運転操作、計装、監視制御)一式	1983/10/10	1985/3/18
24	S59熱海市第二浄水管理センター自家発電設備工事	水処理施設自家発電機室	自家発電設備 一式	1984/10/1	1985/3/18
25	S59熱海市第二浄水管理センター水処理設備工事その2	水処理施設A系列	水処理電気設備 一式	1984/10/17	1985/3/18
26	S59熱海市第二浄水管理センター建設工事その17	盛土	盛土工ほか	1984/6/9	1985/3/20
27	S59熱海市第二浄水管理センター建設工事その18	埋立	埋立仕切ケツ	1984/6/14	1985/3/20
28	S59熱海市第二浄水管理センター建設工事その19	護岸	消波工	1984/11/10	1985/3/20
29	S60熱海市第二浄水管理センター建設工事その20	護岸	護岸工	1985/8/8	1985/12/15
30	S60熱海市第二浄水管理センター建設工事その21	埋立	埋立工	1985/8/20	1986/3/25
31	S61熱海市第二浄水管理センター建設工事その22	汚泥処理棟	土木、建築(躯体)	1986/1/25	1987/1/31
32	S61熱海市第二浄水管理センター建設工事その23	場内整備	場内整備	1986/9/25	1987/3/20
33	S61熱海市第二浄水管理センター建設工事その24	汚泥処理棟、車路	汚泥処理棟 建築(仕上)、建築機械、建築電気、車路 建築	1986/10/7	1987/3/25
34	S60熱海市第二浄水管理センター汚泥処理設備工事	水処理施設A系列、汚泥処理棟	薬注脱水設備、脱臭設備各1式	1986/3/31	1987/10/31
35	S61熱海市第二浄水管理センター電気設備工事その3	汚泥処理棟	汚泥処理設備(運転操作、計装、監視制御)一式	1986/3/31	1987/10/31
36	S62熱海市第二浄水管理センター建設工事その25	場内整備	場内整備	1987/10/29	1988/3/18
37	S63熱海市第二浄水管理センター水処理設備工事その3	水処理施設A系列、管理棟	エレーションタンク設備、最終沈殿池設備、汚泥ポンプ管弁設備、汚泥濃縮設備各1式	1988/10/1	1989/3/18
38	S63熱海市第二浄水管理センター送風機設備工事その2	水処理施設A系列	送風機設備1式	1988/8/11	1989/3/18
39	S63熱海市第二浄水管理センター電気設備工事その4	水処理施設A系列	水処理設備(運転操作、計装、監視制御)一式、汚泥処理設備(運転操作、計装、監視制御)一式	1988/8/11	1989/3/18
40	H2熱海市第二浄水管理センター汚泥脱臭剤定量供給装置設置工事	汚泥処理棟	脱臭剤定量機1台の設置工1式	1990/10/2	1991/1/29
41	H5熱海市第二浄水管理センター建設工事その26	管理棟	管理棟	1993/9/30	1994/2/10
42	H5熱海市第二浄水管理センター建設工事その27	管理棟、管廊	管理棟 建築(躯体)、管廊 土木	1993/8/23	1995/2/17
43	H6熱海市第二浄水管理センター建設工事その29	管理棟、管廊	管理棟 建築(仕上)、建築機械、建築電気、管廊 土木	1994/12/1	1995/3/14
44	H6熱海市第二浄水管理センター建設工事その28	水処理施設B系列	水処理棟、最初沈殿池、エレーションタンク、最終沈殿池、土木工事	1994/9/30	1996/3/15
45	H7熱海市第二浄水管理センター建設工事その30	水処理施設B系列上屋、雑工	建築、建築機械、建築電気、土木(雑工)	1995/8/23	1996/10/31

(出典) 令和元年度 ストックマネジメント全体計画

図表 3.1-13 熱海市浄水管理センター工事履歴(続き)

No.	工事件名	対象施設	工事概要	工期	
				着手	完了
46	H7熱海市第二浄水管理センター水処理設備工事その4	水処理施設B系列	最初沈殿池設備、エレーションタンク設備、最終沈殿池設備、消毒設備、用水設備各1式	1996/3/7	1997/3/18
47	H8熱海市第二浄水管理センターポンプ設備工事その2	水処理施設A系列	主ポンプ設備1式	1996/10/1	1997/3/18
48	H7熱海市第二浄水管理センター電気設備工事その5	管理棟	受変電設備 一式	1995/11/1	1997/3/18
49	H8熱海市第二浄水管理センター自家発電設備工事その2	管理棟自家発電機室	自家発電設備 一式	1996/8/10	1997/3/18
50	H8熱海市第二浄水管理センター汚泥処理設備工事その2	汚泥処理棟、管理棟	汚泥濃縮設備、汚泥脱水設備各1式	1996/9/14	1997/9/30
51	H8熱海市第二浄水管理センター送風機設備工事その3	水処理施設A系列	送風機設備1式	1996/9/14	1997/11/20
52	H8熱海市第二浄水管理センター電気設備工事その6(高率)	水処理施設B系列	水処理設備(運転操作、計装、監視制御)一式、汚泥処理設備(運転操作、計装、監視制御)一式	1996/8/1	1997/11/20
53	H8熱海市第二浄水管理センター電気設備工事その6(低率)	水処理施設A系列	ポンプ設備(運転操作、計装、監視制御)一式	1996/8/1	1997/11/20
54	H9熱海市第二浄水管理センター建設工事その31	場内整備	場内整備	1997/8/28	1998/3/18
55	H12熱海市第二浄水管理センター無停電源装置更新工事	水処理施設A系列	無停電源装置の更新	2000/10/15	2001/3/30
56	H14浄水管理センター水処理計装更新工事	水処理施設A系列	A系水処理設備の計装品更新工事	2002/10/1	2002/12/20
57	H14熱海市南熱海中継ポンプ場建設工事(電気設備)	管理棟監視室	熱海市南熱海中継ポンプ場建設工事に伴う電気設備工事	2002/1/1	2003/3/1
58	H13熱海市伊豆山浜中継ポンプ場建設工事(電気設備)	管理棟監視室	熱海市伊豆山浜中継ポンプ場建設工事に伴う電気設備工事	2001/9/18	2003/3/20
59	H15南熱海幹線1中継施設築造工事(電気設備)	管理棟監視室	南熱海幹線1中継施設(脱臭設備)築造工事に伴う電気設備工事	2003/11/28	2004/1/30
60	H15熱海市浄水管理センター沈砂池設備更新工事(No2自動除塵機)	水処理施設A系列	No2自動除塵機更新工事	2003/9/25	2004/3/20
61	H15熱海市浄水管理センター最初沈殿池設備更新工事(No1-1池)	水処理施設A系列	A系最初沈殿池(No1-1池)機械設備更新工事	2003/9/26	2004/3/20
62	H15熱海市浄水管理センター最終沈殿池設備更新工事(No1-4池)	水処理施設A系列	A系最終沈殿池(No1-4池)機械設備更新工事	2004/1/6	2004/3/25
63	H16熱海市浄水管理センター沈砂し造設備更新工事	水処理施設A系列	沈砂し造設備更新工事	2004/5/20	2005/3/11
64	H16浄水管理センター沈砂池電気設備更新工事	水処理施設A系列	A系沈砂池設備の電気設備更新工事	2004/12/24	2005/3/25
65	H17浄水管理センター無停電源装置 直流電源装置改良工事	水処理施設A系列	無停電源装置及び直流電源装置の機能改良工事	2005/11/1	2006/3/3
66	H17熱海市浄水管理センターエレーションタンク設備更新工事(No1-4池)	水処理施設A系列	A系エレーションタンク(No1-4池)機械設備更新工事	2005/8/18	2006/3/17
67	H17熱海市浄水管理センター汚水ポンプ設備更新工事(No3汚水ポンプ)	水処理施設A系列	No3汚水ポンプ設備更新工事	2005/8/25	2006/3/17
68	H17熱海市浄水管理センター送風機ファン設備更新工事	水処理施設A系列	送風機ファン設備更新工事	2005/11/1	2006/3/17
69	H17浄水管理センター水処理用電気設備更新工事	水処理施設A系列	A系水処理設備(No. 1-1, 1-2)電気設備更新工事	2005/8/24	2006/3/17
70	H17浄水管理センター汚水ポンプ用電気設備更新工事	水処理施設A系列	No. 3, 4汚水ポンプ用電気設備更新工事	2005/8/24	2006/3/17
71	H18熱海市浄水管理センター汚泥脱水設備更新工事	汚泥処理棟	汚泥脱水設備(No1)更新工事	2006/11/29	2008/3/14
72	H18浄水管理センター汚泥脱水用電気設備更新工事	汚泥処理棟	汚泥脱水用電気設備更新工事	2006/11/30	2008/3/14
73	H20浄水管理センター送風機用電気設備更新工事	水処理施設A系列	送風機用電気設備、計装及び監視制御設備機器一式	2008/10/9	2009/3/19
74	H20浄水管理センター無停電源装置蓄電池更新工事	水処理施設A系列	無停電源装置蓄電池更新一式	2008/11/20	2009/3/19
75	H20熱海市浄水管理センター沈砂池設備更新工事	水処理施設A系列	沈砂池機械設備更新	2008/10/30	2010/3/18
76	H20熱海市浄水管理センター汚水ポンプ設備更新工事	水処理施設A系列	汚水ポンプ機械設備更新	2008/10/30	2010/3/18
77	H20浄水管理センター沈砂池用電気設備更新工事	水処理施設A系列	沈砂池用電気設備、運転操作及び監視制御設備機器一式	2008/10/23	2010/3/18
78	H20浄水管理センター汚水ポンプ用電気設備更新工事	水処理施設A系列	汚水ポンプ用電気設備、運転操作及び監視制御設備機器一式	2008/10/23	2010/3/18
79	H21浄水管理センター水処理用電気設備更新工事	水処理施設A系列	終沈補助継電器盤の更新	2009/8/6	2010/3/18
80	H21浄水管理センターポンプ井防食更新工事	水処理施設A系列	ポンプ井・1防食塗装及び800mmφパイプ管	2009/12/8	2010/7/30
81	H22浄水管理センター水処理計装更新工事	水処理施設B系列	B系水処理設備の計装品更新工事	2010/9/1	2010/12/5
82	H22浄水管理センター水処理用電気設備更新工事	水処理施設A系列	初沈補助継電器盤の更新	2010/10/20	2011/3/18
83	H22浄水管理センターポンプ井防食更新工事	水処理施設A系列	ポンプ井・2防食塗装及び800mmφパイプ管	2010/11/16	2011/3/25
84	H22熱海市浄水管理センター汚泥脱水設備更新工事	汚泥処理棟	No2汚泥脱水機の設備更新工事	2010/10/20	2012/2/28
85	H23浄水管理センター汚泥脱水用電気設備更新工事	汚泥処理棟	No. 2汚泥脱水機の電気設備更新工事	2010/12/23	2012/3/23
86	H25熱海市第二浄化センター電話設備修繕工事	管理棟、汚泥処理棟、水処理棟	建築電気	2013/1/4	2013/3/14
87	H24熱海市浄水管理センター水処理設備工事その5	水処理施設A系列	No1, 2沈砂池流入ゲート及びNo1-1濃縮汚泥かき寄せ機更新、関連土木電気工事。	2012/8/14	2013/3/15
88	H25熱海市浄水管理センター建設工事その32	水処理施設A系列	汚水分配槽・B系初沈流入水路・汚泥機排水槽の防食	2013/10/12	2014/2/24
89	H26熱海市浄水管理センター水処理設備工事その6	水処理施設A, B系列、汚泥処理棟	反応タンク設備、汚泥貯留設備、脱臭設備更新	2014/9/26	2016/2/26
90	H27熱海市浄水管理センター電気設備工事その7	水処理施設A及びB系列	A系水処理設備及びB系水処理の電気設備工事	2014/9/27	2016/3/18

(出典) 令和元年度 スtockマネジメント全体計画

(3) 維持管理の状況

熱海市浄水管理センターの維持管理の状況として過年度の実績を図表 3.3-15 に示す。

図表 3.1-15 処理状況（熱海市浄水管理センター）

ユーティリティ調達実績

年度	次亜塩素酸 ソーダ kg	高分子 凝集剤 kg	汚泥脱臭 剤 kg	A 重油 L	軽油 L	硫化水素 発生抑制剤 L
令和元年度	176,950	4,800	2,100	1,500	1,600	
令和2年度	108,710	5,400	2,000	1,500	0	9,600
令和3年度	50,240	4,800	2,100	2,000		14,600
令和4年度	75,050	4,605	2,100	2,000		14,600
令和5年度	90,020	4,605	1,600	2,000		14,600

（出典）熱海市維持管理年報

流入水量・放流水量（令和元年度）

項 目			備 考			
流入水量	(m ³ /年)	6,166,740	前年度	6,026,730	前年対比(%)	102.3
日平均流入水量	(m ³ /日)	16,849	前年度	16,512	前年対比(%)	102.0
雨天日最大流入水量	(m ³ /日)	32,970	10月12日		雨量(mm)	205
晴天日最大流入水量	(m ³ /日)	20,050	10月13日			
最小流入水量	(m ³ /日)	13,290	12月18日			
A系放流水量	(m ³ /年)	1,200,060	前年度	1,601,080	前年対比(%)	75.0
A系平均放流水	(m ³ /日)	4,217	前年度	4,387	前年対比(%)	96.1
A系雨天日最大放流水	(m ³ /日)	11,180	10月12日		雨量(mm)	205
A系晴天日最大放流水	(m ³ /日)	5,550	8月18日			
A系最小流入水量	(m ³ /日)	3,020	12月18日			
B系放流水量	(m ³ /年)	4,966,680	前年度	4,425,650	前年対比(%)	112.2
B系平均放流水	(m ³ /日)	13,578	前年度	12,125	前年対比(%)	112.0
B系雨天日最大放流水	(m ³ /日)	21,790	10月12日		雨量(mm)	205
B系晴天日最大放流水	(m ³ /日)	19,070	2月9日			
B系最小流入水量	(m ³ /日)	10,270	12月18日			

（出典）熱海市維持管理年報

流入水量・放流水量（令和2年度）

項 目			備 考			
流入水量	(m ³ /年)	5,117,100	前年度	6,026,730	前年対比(%)	84.9
日平均流入水量	(m ³ /日)	14,009	前年度	16,512	前年対比(%)	84.8
雨天日最大流入水量	(m ³ /日)	25,390	7月18日		雨量(mm)	106
晴天日最大流入水量	(m ³ /日)	20,150	7月2日			
最小流入水量	(m ³ /日)	9,230	5月10日			
A系放流水量	(m ³ /年)	1,834,320	前年度	1,601,080	前年対比(%)	114.6
A系平均放流水	(m ³ /日)	5,140	前年度	4,387	前年対比(%)	117.2
A系雨天日最大放流水	(m ³ /日)	9,300	6月28日		雨量(mm)	106
A系晴天日最大放流水	(m ³ /日)	6,870	12月31日			
A系最小流入水量	(m ³ /日)	1,530	7月2日			
B系放流水量	(m ³ /年)	3,282,780	前年度	4,425,650	前年対比(%)	74.2
B系平均放流水	(m ³ /日)	8,988	前年度	12,125	前年対比(%)	74.1
B系雨天日最大放流水	(m ³ /日)	18,920	4月18日		雨量(mm)	106
B系晴天日最大放流水	(m ³ /日)	18,620	7月2日			
B系最小流入水量	(m ³ /日)	6,300	5月10日			

（出典）熱海市維持管理年報

流入水量・放流水量（令和3年度）

項 目			備 考			
流入水量	(m ³ /年)	5,311,090	前年度	5,117,100	前年対比(%)	103.8
日平均流入水量	(m ³ /日)	14,538	前年度	14,009	前年対比(%)	103.8
雨天日最大流入水量	(m ³ /日)	44,970	7月3日		雨量(mm)	156
晴天日最大流入水量	(m ³ /日)	18,010	12月31日			
最小流入水量	(m ³ /日)	12,120	5月12日			
A系放流水量	(m ³ /年)	2,049,870	前年度	1,834,320	前年対比(%)	111.8
A系平均放流水	(m ³ /日)	5,610	前年度	5,140	前年対比(%)	109.1
A系雨天日最大放流水	(m ³ /日)	19,710	7月3日		雨量(mm)	156
A系晴天日最大放流水	(m ³ /日)	7,140	12月31日			
A系最小流入水量	(m ³ /日)	4,170	6月3日			
B系放流水量	(m ³ /年)	3,261,220	前年度	3,282,780	前年対比(%)	99.3
B系平均放流水	(m ³ /日)	8,928	前年度	8,988	前年対比(%)	99.3
B系雨天日最大放流水	(m ³ /日)	25,260	7月3日		雨量(mm)	156
B系晴天日最大放流水	(m ³ /日)	11,050	5月3日			
B系最小流入水量	(m ³ /日)	7,160	9月29日			

（出典）熱海市維持管理年報

流入水量・放流水量（令和4年度）

項 目			備 考			
流入水量	(m ³ /年)	5,404,750	前年度	5,311,090	前年対比(%)	101.8
日平均流入水量	(m ³ /日)	14,806	前年度	14,538	前年対比(%)	101.8
雨天日最大流入水量	(m ³ /日)	26,950	8月13日		雨量(mm)	104
晴天日最大流入水量	(m ³ /日)	17,470	5月3日			
最小流入水量	(m ³ /日)	12,180	6月29日			
A系放流水量	(m ³ /年)	2,039,250	前年度	2,049,870	前年対比(%)	99.5
A系平均放流水	(m ³ /日)	5,588	前年度	5,610	前年対比(%)	99.6
A系雨天日最大放流水	(m ³ /日)	11,160	8月13日		雨量(mm)	104
A系晴天日最大放流水	(m ³ /日)	6,790	5月3日			
A系最小流入水量	(m ³ /日)	4,040	6月29日			
B系放流水量	(m ³ /年)	3,365,500	前年度	3,261,220	前年対比(%)	103.2
B系平均放流水	(m ³ /日)	9,218	前年度	8,928	前年対比(%)	103.2
B系雨天日最大放流水	(m ³ /日)	15,790	8月13日		雨量(mm)	104
B系晴天日最大放流水	(m ³ /日)	10,910	5月4日, 12月31日			
B系最小流入水量	(m ³ /日)	7,730	4月20日			

（出典）熱海市維持管理年報

流入水量・放流水量（令和5年度）

項 目			備 考			
流入水量	(m ³ /年)	5,484,670	前年度	5,404,750	前年対比(%)	101.5
日平均流入水量	(m ³ /日)	14,986	前年度	14,806	前年対比(%)	101.2
雨天日最大流入水量	(m ³ /日)	31,400	6月3日		雨量(mm)	112
晴天日最大流入水量	(m ³ /日)	18,130	8月12日			
最小流入水量	(m ³ /日)	11,620	12月13日			
A系放流水量	(m ³ /年)	2,090,370	前年度	2,039,250	前年対比(%)	102.5
A系平均放流水	(m ³ /日)	5,714	前年度	5,588	前年対比(%)	102.3
A系雨天日最大放流水	(m ³ /日)	12,060	6月3日		雨量(mm)	112
A系晴天日最大放流水	(m ³ /日)	7,990				
A系最小流入水量	(m ³ /日)	3,650				
B系放流水量	(m ³ /年)	3,394,300	前年度	3,365,500	前年対比(%)	100.9
B系平均放流水	(m ³ /日)	9,273	前年度	9,218	前年対比(%)	100.6
B系雨天日最大放流水	(m ³ /日)	19,340	6月3日		雨量(mm)	112
B系晴天日最大放流水	(m ³ /日)	12,040	6月4日			
B系最小流入水量	(m ³ /日)	7,460	1月10日			

（出典）熱海市維持管理年報

流入水質・放流水質等（令和元年度）

項 目			備 考		
流入水 pH 平均	7.1	前年度	7.2	前年対比 (%)	98.5
流入水 SS 平均 (mg/ℓ)	115.3	前年度	125	前年対比 (%)	92.4
流入水 COD 平均 (mg/ℓ)	82.3	前年度	86	前年対比 (%)	95.8
流入水 BOD 平均 (mg/ℓ)	117.9	前年度	111	前年対比 (%)	106.4
SVI 最大	720	前年度	1,760	前年対比 (%)	40.9
SVI 最小	115	前年度	170	前年対比 (%)	67.6
SVI 平均	287	前年度	377	前年対比 (%)	76.2
SV 平均 (%)	19	前年度	25	前年対比 (%)	76.8
MLSS 平均 (mg/ℓ)	768	前年度	712	前年対比 (%)	107.9
污泥日令	8.9	前年度	8.65	前年対比 (%)	102.9
放流水 pH 平均	6.8	前年度	6.8	前年対比 (%)	99.4
放流水 SS 平均 (mg/ℓ)	1.1	前年度	0.8	前年対比 (%)	141.9
放流水 COD 平均 (mg/ℓ)	7.8	前年度	6.8	前年対比 (%)	115.1
放流水 BOD 平均 (mg/ℓ)	2.2	前年度	1.8	前年対比 (%)	124.5
A系初沈除去率 SS (%)	83	前年度	85.9	前年対比 (%)	96.6
A系初沈除去率 COD (%)	60	前年度	60.7	前年対比 (%)	98.8
A系初沈除去率 BOD (%)	47	前年度	67.9	前年対比 (%)	69.3
A系終沈除去率 SS (%)	94	前年度	93.6	前年対比 (%)	100.4
A系終沈除去率 COD (%)	76	前年度	77.8	前年対比 (%)	97.7
A系終沈除去率 BOD (%)	90	前年度	93.5	前年対比 (%)	96.2
A系総合除去率 SS (%)	99	前年度	99.1	前年対比 (%)	99.9
A系総合除去率 COD (%)	90	前年度	91.4	前年対比 (%)	98.5
A系総合除去率 BOD (%)	95	前年度	98.0	前年対比 (%)	97.0
A系返送污泥率 (%)	33	前年度	43.6	前年対比 (%)	75.7
A系送風倍率 (倍)	0.6	前年度	0.3	前年対比 (%)	213.9
B系初沈除去率 SS (%)	56	前年度	54.7	前年対比 (%)	102.3
B系初沈除去率 COD (%)	42	前年度	43.8	前年対比 (%)	95.9
B系初沈除去率 BOD (%)	23	前年度	49.9	前年対比 (%)	46.1
B系終沈除去率 SS (%)	85	前年度	85.2	前年対比 (%)	99.7
B系終沈除去率 COD (%)	83	前年度	85.2	前年対比 (%)	97.4
B系終沈除去率 BOD (%)	95	前年度	96.7	前年対比 (%)	98.3
B系総合除去率 SS (%)	99	前年度	99.1	前年対比 (%)	99.9
B系総合除去率 COD (%)	90	前年度	91.8	前年対比 (%)	98.1
B系総合除去率 BOD (%)	97	前年度	98.3	前年対比 (%)	98.6
B系返送污泥率 (%)	32	前年度	38.5	前年対比 (%)	83.0
B系送風倍率 (倍)	2.8	前年度	2.73	前年対比 (%)	102.7

（出典）熱海市維持管理年報

流入水質・放流水質等（令和2年度）

項 目			備 考		
流入水pH平均	7.2	前年度	7.2	前年対比(%)	99.9
流入水SS平均 (mg/ℓ)	109.8	前年度	124.8	前年対比(%)	88.0
流入水COD平均 (mg/ℓ)	75.5	前年度	85.9	前年対比(%)	87.9
流入水BOD平均 (mg/ℓ)	106.3	前年度	110.8	前年対比(%)	95.9
SVI最大	781	前年度	1,760	前年対比(%)	44.4
SVI最小	72	前年度	170	前年対比(%)	42.4
SVI平均	208	前年度	377	前年対比(%)	55.2
SV平均 (%)	20	前年度	25	前年対比(%)	80.8
MLSS平均 (mg/ℓ)	975	前年度	712	前年対比(%)	137.0
污泥日令	14.4	前年度	8.6	前年対比(%)	166.5
放流水pH平均	6.8	前年度	6.8	前年対比(%)	99.4
放流水SS平均 (mg/ℓ)	1.1	前年度	0.8	前年対比(%)	141.9
放流水COD平均 (mg/ℓ)	6.2	前年度	6.8	前年対比(%)	91.5
放流水BOD平均 (mg/ℓ)	1.6	前年度	1.8	前年対比(%)	90.6
A系初沈除去率 SS (%)	83.1	前年度	85.9	前年対比(%)	96.8
A系初沈除去率 COD (%)	60.1	前年度	60.7	前年対比(%)	99.0
A系初沈除去率 BOD (%)	61.9	前年度	67.9	前年対比(%)	91.2
A系終沈除去率 SS (%)	89.6	前年度	93.6	前年対比(%)	95.7
A系終沈除去率 COD (%)	77.0	前年度	77.8	前年対比(%)	98.9
A系終沈除去率 BOD (%)	93.2	前年度	93.5	前年対比(%)	99.6
A系総合除去率 SS (%)	98.3	前年度	99.1	前年対比(%)	99.2
A系総合除去率 COD (%)	90.9	前年度	91.4	前年対比(%)	99.5
A系総合除去率 BOD (%)	97.7	前年度	98.0	前年対比(%)	99.7
A系返送污泥率 (%)	39.7	前年度	43.6	前年対比(%)	91.1
A系送風倍率 (倍)	0.86	前年度	0.28	前年対比(%)	306.6
B系初沈除去率 SS (%)	64.7	前年度	54.7	前年対比(%)	118.2
B系初沈除去率 COD (%)	48.1	前年度	43.8	前年対比(%)	109.8
B系初沈除去率 BOD (%)	47.8	前年度	49.9	前年対比(%)	95.8
B系終沈除去率 SS (%)	83.5	前年度	85.2	前年対比(%)	98.0
B系終沈除去率 COD (%)	83.5	前年度	85.2	前年対比(%)	98.0
B系終沈除去率 BOD (%)	96.4	前年度	96.7	前年対比(%)	99.7
B系総合除去率 SS (%)	98.6	前年度	99.1	前年対比(%)	99.5
B系総合除去率 COD (%)	91.4	前年度	91.8	前年対比(%)	99.6
B系総合除去率 BOD (%)	98.1	前年度	98.3	前年対比(%)	99.8
B系返送污泥率 (%)	30.3	前年度	38.5	前年対比(%)	78.6
B系送風倍率 (倍)	2.96	前年度	2.73	前年対比(%)	108.6

（出典）熱海市維持管理年報

流入水質・放流水質等（令和3年度）

項 目			備 考		
流入水pH平均	7.1	前年度	7.2	前年対比(%)	98.6
流入水SS平均 (mg/ℓ)	115.8	前年度	110	前年対比(%)	105.5
流入水COD平均 (mg/ℓ)	80.6	前年度	76	前年対比(%)	106.8
流入水BOD平均 (mg/ℓ)	111.2	前年度	106	前年対比(%)	104.6
SVI最大	337	前年度	781	前年対比(%)	43.1
SVI最小	108	前年度	72	前年対比(%)	150.0
SVI平均	171	前年度	208	前年対比(%)	82.1
SV平均 (%)	23	前年度	20	前年対比(%)	115.0
MLSS平均 (mg/ℓ)	1,376	前年度	975	前年対比(%)	141.1
污泥日令	21.1	前年度	14.4	前年対比(%)	146.9
放流水pH平均	6.7	前年度	6.8	前年対比(%)	98.2
放流水SS平均 (mg/ℓ)	1.2	前年度	1.1	前年対比(%)	109.9
放流水COD平均 (mg/ℓ)	5.1	前年度	6.2	前年対比(%)	82.0
放流水BOD平均 (mg/ℓ)	1.8	前年度	1.6	前年対比(%)	110.2
A系初沈除去率 SS (%)	83.2	前年度	83.1	前年対比(%)	100.1
A系初沈除去率 COD (%)	62.9	前年度	60.1	前年対比(%)	104.7
A系初沈除去率 BOD (%)	63.7	前年度	61.9	前年対比(%)	102.9
A系終沈除去率 SS (%)	91.0	前年度	89.6	前年対比(%)	101.6
A系終沈除去率 COD (%)	82.3	前年度	77.0	前年対比(%)	106.8
A系終沈除去率 BOD (%)	94.1	前年度	93.2	前年対比(%)	100.9
A系総合除去率 SS (%)	98.6	前年度	98.3	前年対比(%)	100.3
A系総合除去率 COD (%)	93.5	前年度	90.9	前年対比(%)	102.9
A系総合除去率 BOD (%)	97.9	前年度	97.7	前年対比(%)	100.2
A系返送污泥率 (%)	38.4	前年度	39.7	前年対比(%)	96.7
A系送風倍率 (倍)	0.08	前年度	0.9	前年対比(%)	9.4
B系初沈除去率 SS (%)	71.3	前年度	64.7	前年対比(%)	110.2
B系初沈除去率 COD (%)	54.2	前年度	48.1	前年対比(%)	112.7
B系初沈除去率 BOD (%)	54.6	前年度	47.8	前年対比(%)	114.1
B系終沈除去率 SS (%)	86.1	前年度	83.5	前年対比(%)	103.2
B系終沈除去率 COD (%)	86.1	前年度	83.5	前年対比(%)	103.2
B系終沈除去率 BOD (%)	95.9	前年度	96.4	前年対比(%)	99.5
B系総合除去率 SS (%)	99.0	前年度	98.6	前年対比(%)	100.4
B系総合除去率 COD (%)	93.7	前年度	91.4	前年対比(%)	102.5
B系総合除去率 BOD (%)	98.3	前年度	98.1	前年対比(%)	100.2
B系返送污泥率 (%)	35.0	前年度	30.3	前年対比(%)	115.6
B系送風倍率 (倍)	3.23	前年度	2.96	前年対比(%)	109.3

（出典）熱海市維持管理年報

流入水質・放流水質等（令和4年度）

項 目			備 考			
流入水pH平均	7.3	前年度	7.1	前年対比(%)	103.5	
流入水SS平均 (mg/ℓ)	126.8	前年度	115.8	前年対比(%)	109.5	
流入水COD平均 (mg/ℓ)	86.6	前年度	80.6	前年対比(%)	107.5	
流入水BOD平均 (mg/ℓ)	119.9	前年度	111.2	前年対比(%)	107.9	
SVI最大	505	前年度	337	前年対比(%)	149.9	
SVI最小	98	前年度	108	前年対比(%)	90.7	
SVI平均	200	前年度	171	前年対比(%)	117.2	
SV平均 (%)	31	前年度	23	前年対比(%)	132.4	
MLSS平均 (mg/ℓ)	1517	前年度	1376	前年対比(%)	110.3	
污泥日令	29.7	前年度	21.1	前年対比(%)	140.5	
放流水pH平均	6.6	前年度	6.7	前年対比(%)	98.8	
放流水SS平均 (mg/ℓ)	1.7	前年度	1.2	前年対比(%)	145.7	
放流水COD平均 (mg/ℓ)	5.3	前年度	5.1	前年対比(%)	104.6	
放流水BOD平均 (mg/ℓ)	1.5	前年度	1.8	前年対比(%)	84.1	
A系初沈除去率 SS (%)	87.5	前年度	83.2	前年対比(%)	105.1	
A系初沈除去率 COD (%)	65.2	前年度	62.9	前年対比(%)	103.6	
A系初沈除去率 BOD (%)	68.0	前年度	63.7	前年対比(%)	106.8	
A系終沈除去率 SS (%)	92.4	前年度	91.0	前年対比(%)	101.6	
A系終沈除去率 COD (%)	82.4	前年度	82.3	前年対比(%)	100.1	
A系終沈除去率 BOD (%)	96.1	前年度	94.1	前年対比(%)	102.1	
A系総合除去率 SS (%)	99.1	前年度	98.6	前年対比(%)	100.5	
A系総合除去率 COD (%)	93.9	前年度	93.5	前年対比(%)	100.5	
A系総合除去率 BOD (%)	8.7	前年度	97.9	前年対比(%)	8.9	
A系返送污泥率 (%)	33.1	前年度	38.4	前年対比(%)	86.1	
A系送風倍率 (倍)	2.32	前年度	0.81	前年対比(%)	286.6	
B系初沈除去率 SS (%)	81.8	前年度	71.3	前年対比(%)	114.7	
B系初沈除去率 COD (%)	58.0	前年度	54.2	前年対比(%)	107.1	
B系初沈除去率 BOD (%)	61.3	前年度	54.6	前年対比(%)	112.3	
B系終沈除去率 SS (%)	84.9	前年度	86.1	前年対比(%)	98.6	
B系終沈除去率 COD (%)	84.9	前年度	86.1	前年対比(%)	98.6	
B系終沈除去率 BOD (%)	95.9	前年度	95.9	前年対比(%)	100.0	
B系総合除去率 SS (%)	98.5	前年度	99.0	前年対比(%)	99.5	
B系総合除去率 COD (%)	93.6	前年度	93.7	前年対比(%)	99.9	
B系総合除去率 BOD (%)	98.3	前年度	98.3	前年対比(%)	100.0	
B系返送污泥率 (%)	34.8	前年度	35.0	前年対比(%)	99.3	
B系送風倍率 (倍)	3.72	前年度	3.23	前年対比(%)	115.1	

（出典）熱海市維持管理年報

流入水質・放流水質等（令和5年度）

項 目			備 考			
流入水pH平均	7.3		前年度	7.3	前年対比(%)	100.0
流入水SS平均 (mg/ℓ)	123.1		前年度	126.8	前年対比(%)	97.1
流入水COD平均 (mg/ℓ)	83.1		前年度	86.6	前年対比(%)	96.0
流入水BOD平均 (mg/ℓ)	112.3		前年度	119.9	前年対比(%)	93.7
SVI最大	369		前年度	505	前年対比(%)	73.1
SVI最小	103		前年度	98	前年対比(%)	105.1
SVI平均	206		前年度	200	前年対比(%)	103.0
SV平均 (%)	45		前年度	31	前年対比(%)	145.2
MLSS平均 (mg/ℓ)	2084		前年度	1,401	前年対比(%)	148.8
污泥日令	37.9		前年度	27.8	前年対比(%)	136.3
放流水pH平均	6.6		前年度	6.6	前年対比(%)	100.0
放流水SS平均 (mg/ℓ)	1.5		前年度	1.7	前年対比(%)	88.2
放流水COD平均 (mg/ℓ)	4.8		前年度	5.3	前年対比(%)	90.6
放流水BOD平均 (mg/ℓ)	1.1		前年度	1.5	前年対比(%)	73.3
A系初沈除去率 SS (%)	84.3		前年度	87.4	前年対比(%)	96.5
A系初沈除去率 COD (%)	60.4		前年度	65.2	前年対比(%)	92.6
A系初沈除去率 BOD (%)	63.0		前年度	68.0	前年対比(%)	92.6
A系終沈除去率 SS (%)	94.1		前年度	92.4	前年対比(%)	101.8
A系終沈除去率 COD (%)	84.8		前年度	82.4	前年対比(%)	102.9
A系終沈除去率 BOD (%)	96.8		前年度	96.1	前年対比(%)	100.7
A系総合除去率 SS (%)	99.1		前年度	99.1	前年対比(%)	100.0
A系総合除去率 COD (%)	94.0		前年度	93.9	前年対比(%)	100.1
A系総合除去率 BOD (%)	98.8		前年度	98.7	前年対比(%)	100.1
A系返送污泥率 (%)	45.8		前年度	33.1	前年対比(%)	138.4
A系送風倍率 (倍)	2.21		前年度	2.32	前年対比(%)	95.3
B系初沈除去率 SS (%)	81.3		前年度	81.8	前年対比(%)	99.4
B系初沈除去率 COD (%)	55.4		前年度	58.0	前年対比(%)	95.5
B系初沈除去率 BOD (%)	58.7		前年度	61.3	前年対比(%)	95.8
B系終沈除去率 SS (%)	86.8		前年度	84.9	前年対比(%)	102.2
B系終沈除去率 COD (%)	86.8		前年度	84.9	前年対比(%)	102.2
B系終沈除去率 BOD (%)	97.1		前年度	95.9	前年対比(%)	101.3
B系総合除去率 SS (%)	98.7		前年度	98.5	前年対比(%)	100.2
B系総合除去率 COD (%)	94.1		前年度	93.6	前年対比(%)	100.5
B系総合除去率 BOD (%)	98.8		前年度	98.3	前年対比(%)	100.5
B系返送污泥率 (%)	37.0		前年度	34.8	前年対比(%)	106.3
B系送風倍率 (倍)	4.36		前年度	3.72	前年対比(%)	117.2

（出典）熱海市維持管理年報

濃縮汚泥（令和元年度）

項 目		備 考			
汚泥界面平均	(m)	2.1	前年度	2.0	前年対比(%) 105.0
生汚泥引抜率	(%)	1.4	前年度	1.4	前年対比(%) 100.0
余剰汚泥引抜率	(%)	2.1	前年度	2.1	前年対比(%) 100.0
濃縮汚泥引抜率	(%)	0.7	前年度	0.8	前年対比(%) 87.5

濃縮汚泥（令和2年度）

項 目		備 考			
汚泥界面平均	(m)	1.8	前年度	2.0	前年対比(%) 87.9
生汚泥引抜率	(%)	0.7	前年度	1.4	前年対比(%) 47.1
余剰汚泥引抜率	(%)	1.2	前年度	2.1	前年対比(%) 57.7
濃縮汚泥引抜率	(%)	0.8	前年度	0.8	前年対比(%) 96.2

濃縮汚泥（令和3年度）

項 目		備 考			
汚泥界面平均	(m)	2.5	前年度	1.8	前年対比(%) 142.2%
生汚泥引抜率	(%)	0.6	前年度	0.7	前年対比(%) 88.8%
余剰汚泥引抜率	(%)	0.8	前年度	1.2	前年対比(%) 65.7%
濃縮汚泥引抜率	(%)	0.7	前年度	0.8	前年対比(%) 89.3%

濃縮汚泥（令和4年度）

項 目		備 考			
汚泥界面平均	(m)	2.5	前年度	2.5	前年対比(%) 99.7
生汚泥引抜率	(%)	0.9	前年度	0.6	前年対比(%) 141.3
余剰汚泥引抜率	(%)	0.6	前年度	0.8	前年対比(%) 75.8
濃縮汚泥引抜率	(%)	0.8	前年度	0.7	前年対比(%) 107.0

濃縮汚泥（令和5年度）

項 目		備 考			
汚泥界面平均	(m)	2.5	前年度	2.5	前年対比(%) 99.7
生汚泥引抜率	(%)	1.0	前年度	0.9	前年対比(%) 111.1
余剰汚泥引抜率	(%)	0.4	前年度	0.6	前年対比(%) 66.7
濃縮汚泥引抜率	(%)	0.8	前年度	0.8	前年対比(%) 100.0

（出典）熱海市維持管理年報

汚泥処理（令和元年度）

項 目			備 考			
汚泥処理量	(m ³)	40,731.0	前年度	49,091.1	前年対比(%)	83.0
汚泥濃度平均	(%)	1.62	前年度	1.41	前年対比(%)	114.8
ケーキ搬出量	(t)	2,239.5	前年度	2,310.4	前年対比(%)	96.9
ケーキ含水率平均	(%)	72.2	前年度	72.7	前年対比(%)	99.3

汚泥処理（令和2年度）

項 目			備 考			
汚泥処理量	(m ³)	39,943.0	前年度	49,091.1	前年対比(%)	81.4
汚泥濃度平均	(%)	1.50	前年度	1.41	前年対比(%)	106.1
ケーキ搬出量	(t)	1,982.7	前年度	2,310.4	前年対比(%)	85.8
ケーキ含水率平均	(%)	71.9	前年度	72.7	前年対比(%)	98.8

汚泥処理（令和3年度）

項 目			備 考			
汚泥処理量	(m ³)	39,087.2	前年度	39,943.0	前年対比(%)	97.9
汚泥濃度平均	(%)	1.54	前年度	1.50	前年対比(%)	102.8
ケーキ搬出量	(t)	1,945.3	前年度	1,982.7	前年対比(%)	98.1
ケーキ含水率平均	(%)	71.1	前年度	71.9	前年対比(%)	99.0

汚泥処理（令和4年度）

項 目			備 考			
汚泥処理量	(m ³)	40,984.8	前年度	39,087.2	前年対比(%)	104.9
汚泥濃度平均	(%)	1.58	前年度	1.54	前年対比(%)	102.7
ケーキ搬出量	(t)	2,067.3	前年度	1,945.3	前年対比(%)	106.3
ケーキ含水率平均	(%)	70.8	前年度	71.1	前年対比(%)	99.5

汚泥処理（令和5年度）

項 目			備 考			
汚泥処理量	(m ³)	42,849.4	前年度	40,984.8	前年対比(%)	104.5
汚泥濃度平均	(%)	1.51	前年度	1.58	前年対比(%)	95.6
ケーキ搬出量	(t)	2,028.0	前年度	2,067.3	前年対比(%)	98.1
ケーキ含水率平均	(%)	69.8	前年度	70.8	前年対比(%)	98.6

（出典）熱海市維持管理年報

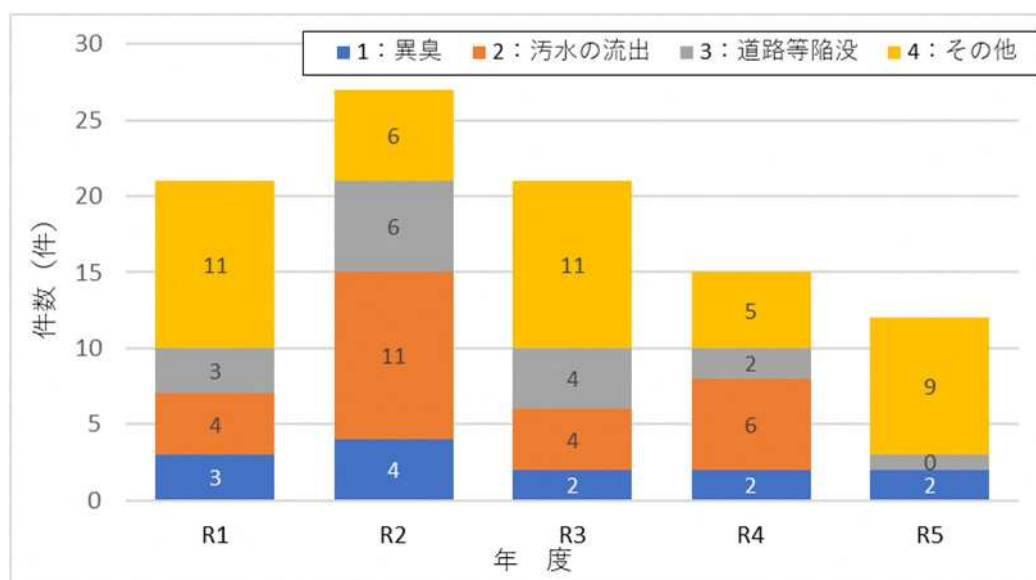
(4) 事故・故障発生状況

住民対応実施状況（令和元年度～令和5年度）の件数を図表 3.1-16, 17 に、住民対応件数の内訳を図表 3.1-18 に示す。

これより、住民対応の件数は年間約 19.2 件であり、その内容で最も多いのは“その他”であるが、内訳が確認出来る内訳では、汚水の流出が最も多くなっている。

図表 3.1-16 住民対応件数

年度	1:異臭	2:汚水の流出	3:道路等陥没	4:その他	合計
R1	3	4	3	11	21
R2	4	11	6	6	27
R3	2	4	4	11	21
R4	2	6	2	5	15
R5	2	0	1	9	12
平均	2.6	5	3.2	8.4	19.2



図表 3.1-17 住民対応件数（グラフ）

図表 3. 1-18 住民対応件数の内訳（令和元年度～令和5年度）

年度	No.	受信日時	時間	受信者	通報者 ※1		内容 ※2	
						その他		その他
R1	01	H31.4.3	13:25	下水道課	1		4	河川への異常排水
R1	02	H31.4.19	14:00		1		1	南熱海幹線中継施設
R1	03	R1.5.10	11:00		5	民間事業者	4	取付け管支障
R1	04	R1.5.20	9:15	下水道課	1		1	
R1	05	R1.5.27	10:30	下水道課	1		4	側溝からの溢水
R1	06	R1.6.5		下水道課	1		4	鉄蓋飛出し
R1	07	R1.6.13		下水道課	5	熱海市	4	
R1	08	R1.6.24		下水道課	1		3	柵周辺舗装破損（私道）
R1	09	R1.7.12		下水道課	5	静岡県	3	マンホール周辺舗装の陥没
R1	10	R1.7.25	9:30	下水道課	5	熱海市	2	人孔からの汚水流出
R1	11	R1.8.1	16:30	下水道課	5	静岡県	3	
R1	12	R1.8.5		下水道課	1		2	取付け管異常
R1	13	R1.8.26		下水道課	1		4	本管布設要望
R1	14	R1.9.3	16:00	下水道課	1		4	マンホール蓋がたつき
R1	15	R1.9.17	16:30	下水道課	1		4	マンホール蓋がたつき
R1	16	R1.10.20		下水道課	1		2	
R1	17	R1.12.2	9:30	下水道課	1		2	下水道供用区域外
R1	18	R1.12.2	14:30	下水道課	1		4	雨水柵蓋外れ
R1	19	R2.1.2	17:00	下水道課	1		4	柵閉塞
R1	20	R2.1.6	15:00	下水道課	1		1	
R1	21	R2.3.10		下水道課	5	熱海市	4	鉄蓋がたつき

※1) 通報者 1: 市民、2: 原因者、3: 警察、4: メディア、5: その他

※2) 内容 1: 異臭、2: 汚水の流出、3: 道路等陥没、4: その他

年度	No.	受信日時	時間	受信者	通報者 ※1		内容 ※2	
						その他		その他
R2	01	R2.4.19	8:00	下水道課	5	民間事業者	2	
R2	02	R2.4.28	15:00	下水道課	5	熱海市	3	
R2	03	R2.5.8	15:00	下水道課	5	熱海市	2	
R2	04	R2.5.11	13:00	下水道課	1		2	
R2	05	R2.5.15	13:50	下水道課	1		2	
R2	06	R2.5.25	15:00	下水道課	5	熱海市	3	
R2	07	R2.5.26	16:30	下水道課	5	熱海市	3	
R2	08	R2.11.2	12:30	下水道課	1		2	
R2	09	R2.6.4	10:30	下水道課	1		2	
R2	10	R2.6.8	11:45	下水道課	5	熱海市	2	
R2	11	R2.6.11	14:30	下水道課	5	熱海市	4	人孔鉄蓋がたつき
R2	12	R2.6.22	16:30	下水道課	5	民間事業者	1	
R2	13	R2.7.10	9:30	下水道課	5	熱海市	4	
R2	14	R2.7.9	10:45	下水道課	5	熱海市	3	
R2	15	R2.7.10	13:00	下水道課	1		1	
R2	16	R2.7.13	15:15	下水道課	5	民間事業者	4	鉄蓋のガタつき
R2	17	R2.8.3	8:20	下水道課	5	熱海市	4	人孔鉄蓋のずれ及び段差
R2	18	R2.8.5	11:00	下水道課	5	熱海市	3	
R2	19	R2.8.8	18:10	下水道課	5	熱海市	3	
R2	20	R2.8.5	11:00	下水道課	1		2	
R2	21	R2.8.13	15:50	下水道課	1		2	
R2	22	R2.9.17	9:00	下水道課	1		1	
R2	23	R2.10.13	9:20	下水道課	1		1	
R2	24	R2.11.27	9:00	下水道課	5	熱海市	2	
R2	25	R2.12.11	11:50	下水道課	1		2	
R2	26	R3.3.16	13:15	下水道課	1		4	宅内排水設備からの異音
R2	27	R3.3.27	11:30	下水道課	5	熱海市	4	マンホール埋設

※1) 通報者 1: 市民、2: 原因者、3: 警察、4: メディア、5: その他

※2) 内容 1: 異臭、2: 汚水の流出、3: 道路等陥没、4: その他

年度	No.	受信日時	時間	受信者	通報者 ※1		内容 ※2	
						その他		その他
R3	01	R3.4.14	18:45	下水道課	1		2	
R3	02	R3.4.20	18:15	下水道課	1		2	
R3	03	R3.4.30	15:00	下水道課	5	熱海市	3	
R3	04	R3.5.19	10:40	下水道課	1		4	人孔鉄蓋がたつき
R3	06	R3.6.17	10:40	下水道課	1		1	
R3	07	R3.7.3	14:00		1		2	
R3	08	R3.7.28	9:30	下水道課	5	熱海市	3	
R3	09	R3.7.28	9:30	下水道課	5	熱海市	4	民地内不明水
R3	10	R3.8.16		下水道課	1		4	取付管詰り
R3	11	R3.9.10		下水道課	1		4	取付管詰り
R3	12	R3.11.8		下水道課	5	熱海市	3	
R3	13	R3.11.15		下水道課	1		4	最終枳つまり
R3	14	R3.12.3		下水道課	1		4	取付管つまり
R3	15	R3.12.20		下水道課	1		4	最終枳つまり
R3	16	R3.11.5		下水道課	1		1	
R3	17	R3.12.24		下水道課	5	熱海市	3	
R3	18	R4.1.25		下水道課	1		4	宅内排水設備の閉塞
R3	19	R4.2.28		下水道課	1		4	宅内排水設備
R3	20	R4.3.1		下水道課	1		4	取付管の閉塞
R3	21	R4.1.6		下水道課	1		4	宅内排水設備の閉塞
R3	22	R4.3.19		下水道課	5	熱海市	2	

※1) 通報者 1: 市民、2: 原因者、3: 警察、4: メディア、5: その他

※2) 内容 1: 異臭、2: 汚水の流出、3: 道路等陥没、4: その他

年度	No.	受信日時	時間	受信者	通報者 ※1		内容 ※2	
						その他		その他
R4	01	R4.4.16	11:30	下水道課	5	民間事業者	2	
R4	02	R4.4.15		下水道課	1		4	つまり
R4	03	R4.5.24		下水道課	1		4	マンホールがたつき
R4	04	R4.7.13		下水道課	1		4	最終枳からの流れ
R4	05	R4.7.20	13:30		5	熱海市	1	
R4	06	R4.8.10		下水道課	1		4	マンホール蓋ガタツキ
R4	07	R4.8.29			1		3	
R4	08	R4.8.30		下水道課	1		1	
R4	09	R4.8.26		下水道課	1		2	
R4	10	R4.9.9		下水道課	1		2	
R4	11	R4.9.5		下水道課	1		4	最終枳のつまり
R4	12	R4.12.8		下水道課	5	熱海市	3	
R4	13	R4.12.9		下水道課	1		2	
R4	14	R5.1.18			1		2	
R4	15	R5.2.17		下水道課	5	熱海市	2	

※1) 通報者 1: 市民、2: 原因者、3: 警察、4: メディア、5: その他

※2) 内容 1: 異臭、2: 汚水の流出、3: 道路等陥没、4: その他

年度	No.	受信日時	時間	受信者	通報者 ※1		内容 ※2	
						その他		その他
R5	01	R5.4.13		下水道課	1		4	4 鉄蓋がたつき（東京電力）
R5	02	R5.4.17	15:00	下水道課	1		1	
R5	03	R5.7.7		下水道課	1		3	雨水管、木根
R5	04	R5.5.16		下水道課	1		1	
R5	05	R5.9.18	21:00	下水道課	3		4	鉄蓋破損（公道内柵）
R5	06	R5.9.28	17:00	下水道課	2		4	重油漏れ
R5	07	R5.12.22	6:15	下水道課	3		4	鉄蓋破損（マンホール）
R5	08	R5.12.25		下水道課	1		4	浄化槽排水流出（個人所有）
R5	09	R5.12.23	18:00	下水道課	5	熱海市	4	灯油漏れ
R5	10	R6.1.18	16:00	下水道課	5	民間事業者	4	取付け管閉塞
R5	11	R6.1.27	14:00	下水道課	1		4	取付け管閉塞
R5	12	R6.2.29	13:15	下水道課	1		4	柵溢水

※1) 通報者 1: 市民、2: 原因者、3: 警察、4: メディア、5: その他

※2) 内容 1: 異臭、2: 汚水の流出、3: 道路等陥没、4: その他

（５）民間委託の状況

民間活力の活用として、図表 3.1-19 に示す通り、料金徴収業務および運転管理業務を民間委託している。処理場・ポンプ場の維持管理については、レベル 2.5 相当の包括的民間委託による維持管理業務の体制補完がなされている。また、建設工事については、日本下水道事業団に委託して実施している。管路については、包括的民間委託を導入しておらず、職員により各維持管理業務及び工事を個別に発注・管理しており、体制補完が出来ていない状況である。

エネルギー利用については、国土交通省が実施する「令和 5 年度下水道温室効果ガス削減推進モデル事業」の対象団体として選定され、熱海市浄水管理センターを対象に省エネ対策や創エネ・再エネ方策の導入に関する検討などを実施している。

図表 3.1-19 民間活力・資産の活用状況

項目		活用状況
民間活力の活用	民間委託	平成 19 年度より下水道使用料の徴収業務を民間委託している。 平成 21 年度より処理場・ポンプ場の運転管理業務を包括的民間委託している。
	指定管理者制度	該当なし
	PPP/PFI	該当なし
資産の活用	エネルギー利用	該当なし
	土地・施設など利用	該当なし

（出典）熱海市公共下水道事業 経営戦略

【熱海市における包括的民間委託の概要】

委 託 名：熱海市浄水管理センター等運転管理業務委託

委 託 年 数：令和 3 年度～令和 7 年度（5 年間）

契 約 金 額：1,419,000,000円（税抜）

業務エリア：熱海市浄水管理センター、伊豆山浜中継ポンプ場、南熱海中継ポンプ場、
南熱海幹線管路トンネル、南熱海幹線中継施設、泉地区採水 5 箇所、
寺山マンホールポンプ

包括レベル：レベル 2.5（一件あたり 80 万円以下の修繕業務を実施する形態）

対 象 業 務：

- （１）運転管理業務
- （２）保守点検業務
- （３）水質分析業務
- （４）環境整備業務
- （５）修繕業務
- （６）ユーティリティ調達業務
- （７）設備関連台帳管理業務
- （８）緊急時の対応

- (9) 見学者への対応
- (10) 業務期間満了時の引き継ぎ
- (11) その他の業務

(6) 各種計画

施設整備の進捗と施設の老朽化に伴い、将来的に建設改廃事業費や維持管理費の増大が想定されていることから、既存資料に基づき、建設改廃（施設整備）及び維持管理に関する将来事業量を整理した。

各計画の概要を図表 3. 1-20 に示す。

図表 3. 1-20 各計画の概要

名称	計画概要	策定年度
汚水処理整備計画	未整備地区における汚水処理の早期概成を目指し、その実現のために策定された計画（アクションプラン）	平成 29 年度 ～令和 8 年度
ストックマネジメント計画 （管路施設）	長期的な視点で計画的な施設管理を推進するための計画。 全体計画として、長期的な改築事業費等を検討し、実施計画として、修繕・改築が必要な施設を検討する。実施計画は、概ね 5 年毎に変更を行う。	令和 4 年度 ～令和 8 年度 （第 2 期）
ストックマネジメント計画 （処理場・ポンプ場施設）		管路施設および 処理場・ポンプ場 施設は現在見直し中
総合地震対策計画	地震時に下水道が最低限有すべき機能を確保するため、施設の耐震化及び被災した場合の下水道機能のバックアップ対策を策定する計画	令和 5 年度 ～令和 14 年度
初島漁業集落排水施設 機能保全計画	予防保全型の施設管理を基本とした最適整備構想を策定することを目的とし、機能診断及び最適整備構想	令和 7 年度 ～令和 11 年度

建設改良及び維持管理の将来事業量は、「熱海市公共下水道事業 経営戦略 令和5年5月 熱海市公営企業部下水道課」（以下、経営戦略とする）を参照して、対象期間を令和5年～令和14年度まで（10年間）とする。経営戦略によると、今後の下水道事業は図表3.1-21のとおりであり、面整備より改築事業、地震・津波対策事業がメインとなる。管路、浄水管理センター、ポンプ場の改築は、定期的な点検調査結果に基づく優先度に応じて、老朽化の進行する施設や設備を特定し、計画的に改築していく予定である。地震・津波対策は、早期に各施設の処理機能を維持できる対策を実施していく予定である。

更に、上記下水道事業以外にも、令和6年度からは初島漁業集落排水事業が下水道課の所管となり、下水道課の負担が更に増加する。

下水道事業の建設改良費は、今後700百万円/年～1,200百万円/年と予定される。また、維持管理費は、470百万円/年～500百万円/年である。

図表 3.1-21 下水道事業の予定

（単位：百万円）

施策 【関連計画】	計画期間										
	2023 R5	2024 R6	2025 R7	2026 R8	2027 R9	2028 R10	2029 R11	2030 R12	2031 R13	2032 R14	
面整備 【汚水処理整備計画】 【（アクションプラン）】			★汚水処理整備計画（アクションプラン）見直し								
	0.6ha/年のペース（アクションプランを基に事業状況を踏まえて調整）で面整備を実施⇒										
	33	33	33	41	53	47	33	33	33	33	
改築 （管路） 【ストックマネジメント 計画】			★ストックマネジメント計画見直し					★ストックマネジメント計画見直し			
	5年に1回の点検調査結果に基づき老朽化の進行した管路を改築⇒										
	130	153	93	61	77	77	107	97	85	137	
改築 （処理場・ポンプ場） 【ストックマネジメント 計画】		★ストックマネジメント計画見直し					★ストックマネジメント計画見直し				
	5年に1回の調査と計画見直しにより老朽化の進行した設備等を改築⇒										
	560	348	433	532	362	357	446	389	405	459	
地震・津波対策 【総合地震対策計画】					★総合地震 対策計画 見直し					★総合地震 対策計画 見直し	
	液状化の危険性が高い管路の耐震化、浄水管理センターの耐震化⇒										
	132	170	226	165	283	211	527	465	465	343	
その他災害対策	★伊豆山地区災害対策				★自家発電電気設備（南熱海中継ポンプ場）の整備						
	130				5	60	60				
不明水対策					★雨天時侵入水対策計画策定						
				雨天時浸入水の調査と対策計画⇒							
				20	10	5	5	5	5	5	
合計	985	704	785	819	790	757	1,178	989	993	977	

出典）熱海市公共下水道事業 経営戦略 令和5年5月 熱海市公営企業部下水道課

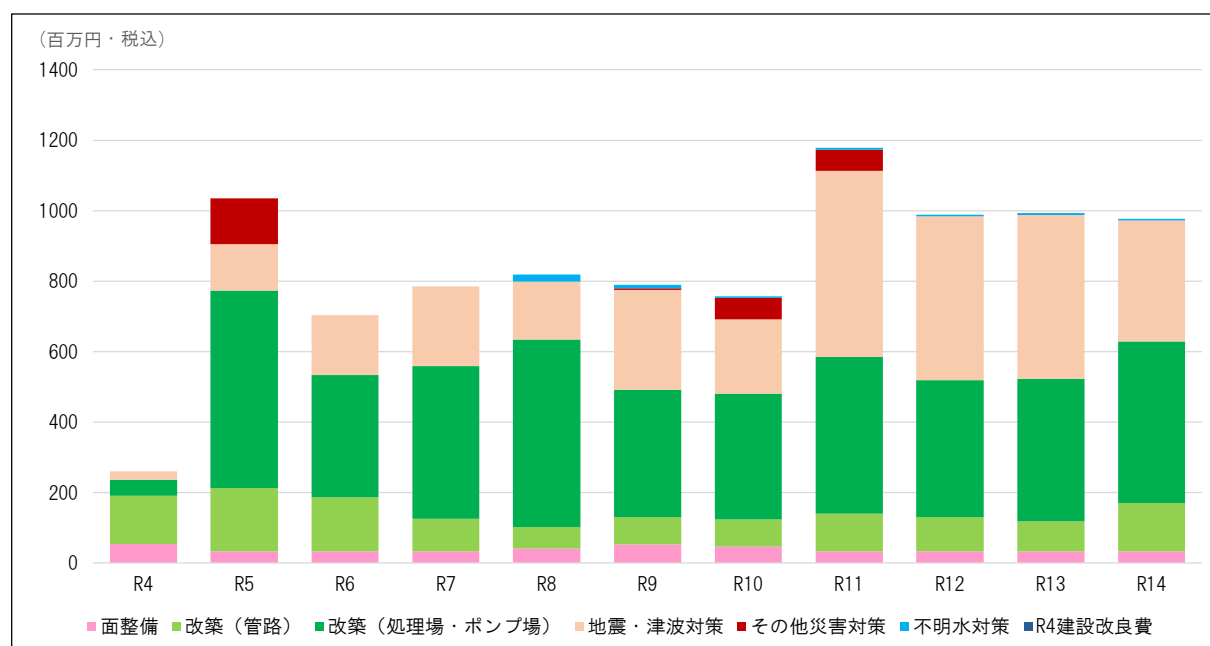
図表 3.1-22 建設改良費の推移

単位：税込み-千円

年度	面整備	改築 (管路)	改築 (処理場・ ポンプ場)	地震・ 津波対策	その他 災害対策	不明水対策	合計	合計 (JS除く)
R4	54,182	137,134	44,910	23,590	0	0	259,815	191,315
R5	33,000	180,241	560,000	132,000	130,000	0	1,035,241	475,241
R6	33,000	153,000	348,300	170,000	0	0	704,300	356,000
R7	33,000	93,000	432,800	226,000	0	0	784,800	352,000
R8	41,000	61,000	531,500	165,000	0	20,000	818,500	287,000
R9	53,000	77,000	362,000	283,000	5,000	10,000	790,000	428,000
R10	47,000	77,000	357,000	211,000	60,000	5,000	757,000	400,000
R11	33,000	107,000	446,000	527,000	60,000	5,000	1,178,000	732,000
R12	33,000	97,000	389,000	465,000	0	5,000	989,000	600,000
R13	33,000	85,000	405,000	465,000	0	5,000	993,000	588,000
R14	33,000	137,000	458,900	343,000	0	5,000	976,900	518,000

出典) 令和5年度以降：熱海市公共下水道事業 経営戦略 令和5年5月 熱海市公営企業部下水道課

注) 網掛けは、日本下水道事業団(JS)関連を示す。



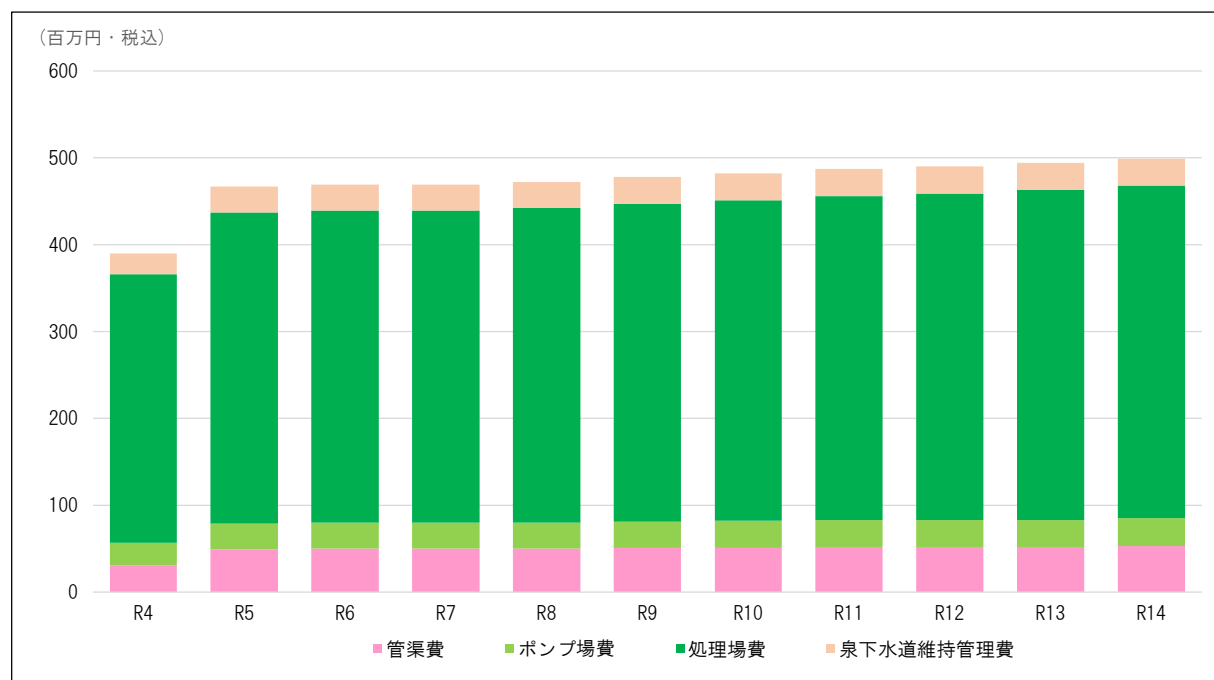
図表 3.1-23 建設改良費の推移 (グラフ)

図表 3.1-24 維持管理費の推移

単位：税抜き-千円

年度	管渠費	ポンプ場費	処理場費	泉下水道 維持管理費	合計
R4	15,298	34,794	324,782	23,246	398,120
R5	49,164	29,661	358,493	30,039	467,357
R6	49,555	29,673	358,675	30,189	468,092
R7	49,950	29,684	358,857	30,340	468,831
R8	50,348	29,969	362,262	30,492	473,071
R9	50,749	30,257	365,700	30,644	477,350
R10	51,154	30,548	369,172	30,798	481,672
R11	51,563	30,842	372,677	30,952	486,034
R12	51,975	31,138	376,217	31,106	490,436
R13	52,391	31,437	379,790	31,262	494,880
R14	52,811	31,740	383,399	31,418	499,368

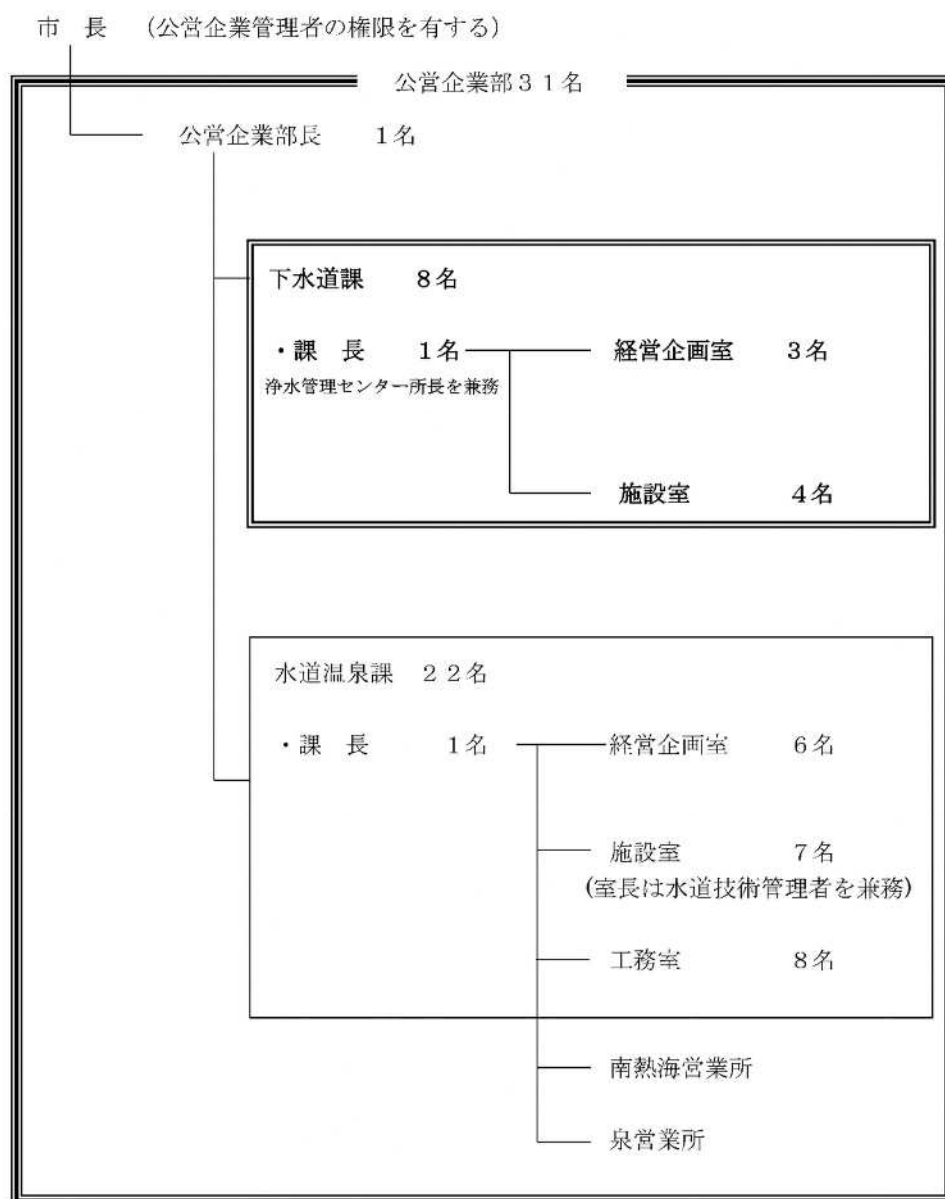
出典) 令和5年度以降：熱海市公共下水道事業 経営戦略 令和5年5月 熱海市公営企業部下水道課



図表 3.1-25 維持管理費の推移 (グラフ)

3.2 組織体制に関する状況

下水道課の組織体制（正規職員）は、課長 1 名、経営企画室 3 名、施設室 4 名となっている。



令和 6 年 4 月 1 日現在

(出典) 下水道事業のあらまし (令和 5 年度版) 熱海市公営企業部下水道課

図表 3.2-1 公営企業部組織図

本市の下水道事業に携わる職員数の推移を図表 3.2-2 示す。これより、本市の下水道事業に携わる職員数は令和 3 年以降横ばいであることが確認出来る。加えて、管路担当、処理場担当、排水設備担当は、各 1 名で対応しており、代替の人員を確保出来ない状況となっている。特に、設備職は全体で 1 名であり、対応が難しい状況である。

図表 3.2-2 職員数の推移

年度	課長	経営企画室	施設室				計
			室長	管路担当	処理場担当	排水設備担当	
職種	土木		土木	土木	電気/機械	土木	
令和2年度	1	3	1	2	1電気	1	9
令和3年度	1	3	1	1	1電気	1	8
令和4年度	1	3	1	1	1電気	1	8
令和5年度	1	3	1	1	1電気	1	8
令和6年度	1	3	1	1	1機械	1	8

(補足)

「下水道事業のあらまし」と人数が異なる年度があるが、座席表により精査した人数を記載している

委託状況として、令和 1 年度～令和 5 年度の発注件数、事業費（変更後決算額、税込）を整理し、図表 3.2-3 に示す。

単位 件数:件、決算額:千円

年度	維持管理													
	管きよ				ポンプ場				処理場				合計	
	委託		修繕		委託		修繕		委託		修繕			
	件数	決算額	件数	決算額	件数	決算額	件数	決算額	件数	決算額	件数	決算額	件数	決算額
R1	12	8,235	29	37,710	6	10,741	2	8,278	5	3,711	8	31,439	62	100,114
R2	13	8,763	10	3,643	0	0	1	6,919	5	1,462	3	9,570	32	30,357
R3	17	9,865	9	9,296	1	1,484	1	5,500	5	1,649	4	14,949	37	42,743
R4	17	12,328	2	417	0	0	2	12,539	3	208	4	14,235	28	39,727
R5	12	10,955	13	14,370	1	2,838	0	0	4	4,284	7	47,586	37	80,033
平均	14.2	10,029	13	13,087	2	3,013	1	6,647	4	2,263	5.2	23,556	39	58,595

単位 件数:件、決算額:千円

年度	建設改良															
	管きよ				ポンプ場				処理場				下水道施設建設推進		合計(JS除く)	
	委託		工事		委託		工事		委託		工事					
	件数	決算額	件数	決算額	件数	決算額	件数	決算額	件数	決算額	件数	決算額	件数	決算額	件数	決算額
R1	3	36,681	33	125,457			0	0	4	516,140	1	2,192	0	0	37	164,330
R2	3	20,686	52	148,050			1	2,673	4	371,340	1	5,817	0	0	57	177,225
R3	1	1,210	42	143,739			0	0	3	257,680	2	6,655	2	6,600	46	152,704
R4	2	10,078	36	148,822			0	0	1	70,010	0	0	1	23,590	38	158,901
R5	3	11,924	29	47,352			0	0	3	589,300	2	6,820	0	0	35	552,096
平均	2.4	16,116	38	122,684			0	535	3.0	360,894	1.2	4,297	0.6	6,038	43	241,051

単位 件数:件、決算額:千円

年度	上記のうちJS ※	
	件数	決算額
R1	4	516,140
R2	4	371,340
R3	4	263,180
R4	2	93,600
R5	2	103,300
平均	3.2	269,512

※処理場および建設推進委託

図表 3.2-3 発注件数、事業費の推移（令和元年度～令和5年度）

費目別に整理した委託実績を図表 3. 2-4 及び図表 3. 2-5 に示す。

管きよの修繕（211 管修）などは、市内業者にて対応可能な業務であることが想定される。一方、熱海市浄水管理センターの委託（414 浄委）は、委託額が大きく、大規模な改築工事を含むことが分かる。

図表 3. 2-4 発注件数の推移

種別		R1	R2	R3	R4	R5	備考
413管布	管渠布設工事費	33	51	42	35	28	
414浄改	浄水管理センター建設改良工事費	1	1	2	0	2	
416ポンプ工	ポンプ場建設工事費	0	1	0	0	0	
417泉下建	泉下水建設工事費	0	1	0	1	1	
211管修	管渠修繕費	28	10	6	2	12	
211管復	路面復旧費	0	0	2	0	1	
212ボ修	ポンプ場修繕費	2	1	1	2	0	
213処修	処理場修繕費	8	3	4	4	7	
214泉維修	泉下水道維持管理修繕費	1	0	1	0	0	
211管委	管渠委託料	11	13	17	17	12	
212ボ委	ポンプ場委託料	6	0	1	0	1	
213処委	処理場委託料	5	5	5	3	4	
214泉維委	泉下水道維持管理委託料	1	0	0	0	0	
215総委	総係委託料	—	—	—	—	—	※検針等であるため除く
413管布委	管渠布設委託料	3	3	1	2	3	
414浄委	浄水管理センター建設改良委託料	4	4	3	1	3	
下施委	下水道施設建設推進委託料	0	0	2	1	0	
合計		103	93	87	68	74	

図表 3. 2-5 事業費（委託費）の推移

種別		R1	R2	R3	R4	R5	備考
413管布	管渠布設工事費	125,457	147,885	143,739	148,184	46,890	
414浄改	浄水管理センター建設改良工事費	2,192	5,817	6,655	0	6,820	
416ポンプ工	ポンプ場建設工事費	0	2,673	0	0	0	
417泉下建	泉下水建設工事費	0	165	0	638	462	
211管修	管渠修繕費	37,050	3,643	2,913	417	13,160	
211管復	路面復旧費	0	0	6,317	0	1,210	
212ボ修	ポンプ場修繕費	8,278	6,919	5,500	12,539	0	
213処修	処理場修繕費	31,439	9,570	14,949	14,235	47,586	
214泉維修	泉下水道維持管理修繕費	660	0	66	0	0	
211管委	管渠委託料	8,147	8,763	9,865	12,328	10,955	
212ボ委	ポンプ場委託料	10,741	0	1,484	0	2,838	
213処委	処理場委託料	3,711	1,462	1,649	208	4,284	
214泉維委	泉下水道維持管理委託料	88	0	0	0	0	
215総委	総係委託料	—	—	—	—	—	※検針等であるため除く
413管布委	管渠布設委託料	36,681	20,686	1,210	10,078	11,924	
414浄委	浄水管理センター建設改良委託料	516,140	371,340	257,680	70,010	589,300	
下施委	下水道施設建設推進委託料	0	0	6,600	23,590	0	
合計		780,584	578,922	458,627	292,227	735,430	

3.3 財政に関する状況

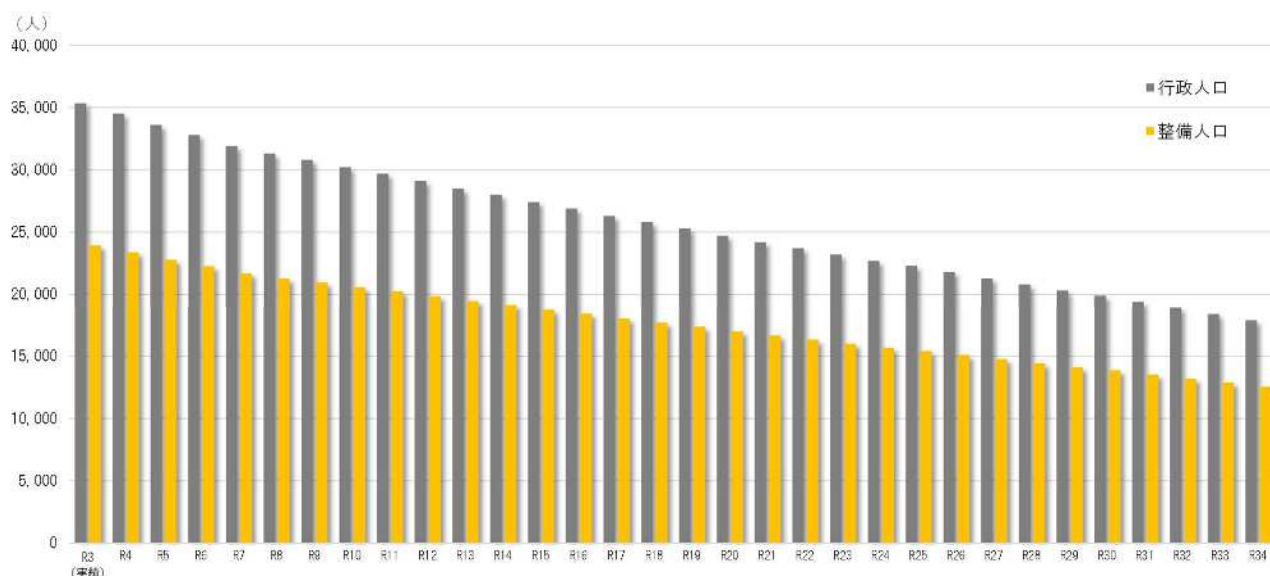
(1) 財務収益性

本市の行政人口は、令和5年度から令和14年度までの10年間で5,600人(17%)、長期的には30年後の令和34年度までの30年間で15,700人(47%)減少すると見込まれている。

整備人口は、下水道事業計画区域内において今後行う下水道整備面積(0.6ha/年を想定)を勘案し算定しており、行政人口の減少に伴い、整備人口は減少していく見込みとしている。

そのため、整備人口は、令和14年度までに約3,650人(16%)、長期的には令和34年度までに約10,250人(45%)の減少が見込まれている。

これに伴って、下水道使用料の減少が想定され、財務収益性が低下することが懸念される。



図表 3.3-1 処理区域内の整備人口の予測

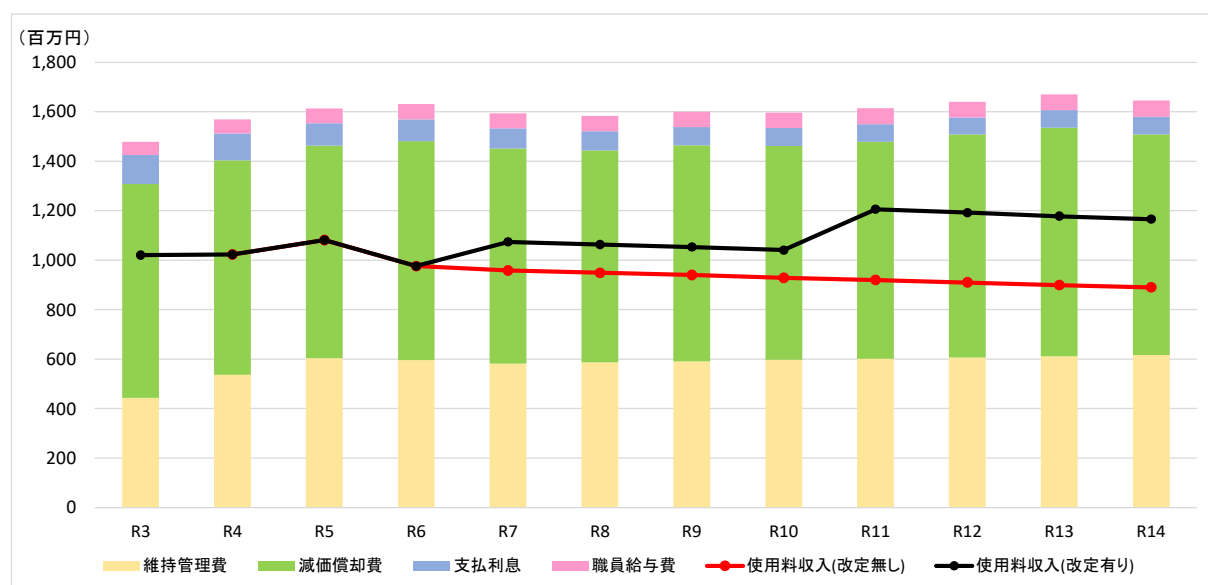
(出典) 熱海市公共下水道事業 経営戦略

使用料収入の推計は、有収汚水量を基に使用料単価(＝使用料収入/有収汚水量)を乗じて算出しており、現在は、下水道使用料以外の一般会計からの繰入金等により支出を賄っている。

老朽施設の改築および地震対策等の推進により減価償却費や支払利息の増大が見込まれる一方、少子高齢化の進展や節水志向による有収汚水量の減少が見込まれるため、下水道使用料は減少傾向であり、収入不足が懸念される。

そのため、投資・財政計画(収支計画)については、純利益を確保するため、4年毎に使用料の見直しを行うことを想定している。

経営戦略によると、短期的には、令和7年度に12%、中期的には令和11年度に17%の使用料改定を行い、収入の不足を補う計画としている。



図表 3.3-2 使用料収入の見通し

(出典) 熱海市公共下水道事業 経営戦略

(2) 財務安全性

本市の経費回収率は、平成 30 年度に若干 100%（使用料収入＝汚水処理費）を下回るものの、その他の 4 年間では 100%となっていることから、汚水処理に関わる費用は使用料収入で概ね賄えている。

類似団体の平均値を上回っていることから、本市の使用料水準は適正と考えられる。

今後も効率的な施設運営による汚水処理費の削減を図りつつ、使用料収入と汚水処理のバランスを配慮し、適正な使用料水準を維持する必要がある。

図表 3.3-3 経費回収率

年度	下水道使用料 (千円)	汚水処理費 (公費負担分を除く) (千円)	経費回収率 (%)	平均値 (%)
H29	1, 173, 121	1, 173, 121	100. 00	87. 69
H30	1, 156, 905	1, 160, 466	99. 69	88. 06
R1	1, 147, 142	1, 147, 142	100. 00	87. 29
R2	1, 030, 720	1, 030, 720	100. 00	88. 25
R3	1, 021, 429	1, 021, 429	100. 00	90. 17

※平均値：類似団体区分[Cc1]に該当する団体の平均値。

4. 漁業集落排水事業の概要

(1) 初島漁業集落排水事業の概要

本市の漁業集落排水事業の概要を次に示す。対象施設は全て整備済である。

図表 4-1 初島浄水管理センターの概要

供用開始	平成 19 年 1 月 (2007 年 1 月)
処理対象汚水	生活系排水 (し尿及び生活雑排水)
処理方式	膜分離活性汚泥法
汚泥処理方式	脱水、炭化、搬送
処理対象人員	1,880 人
計画流入水質	BOD : 200mg/L、SS : 200mg/L
計画放流水質	BOD : 5mg/L、COD : 10mg/L、SS : 5mg/L
計画汚水量	日最大汚水量 621m ³ /日、日平均 508m ³ /日

(出典) R5 年度 機能保全計画

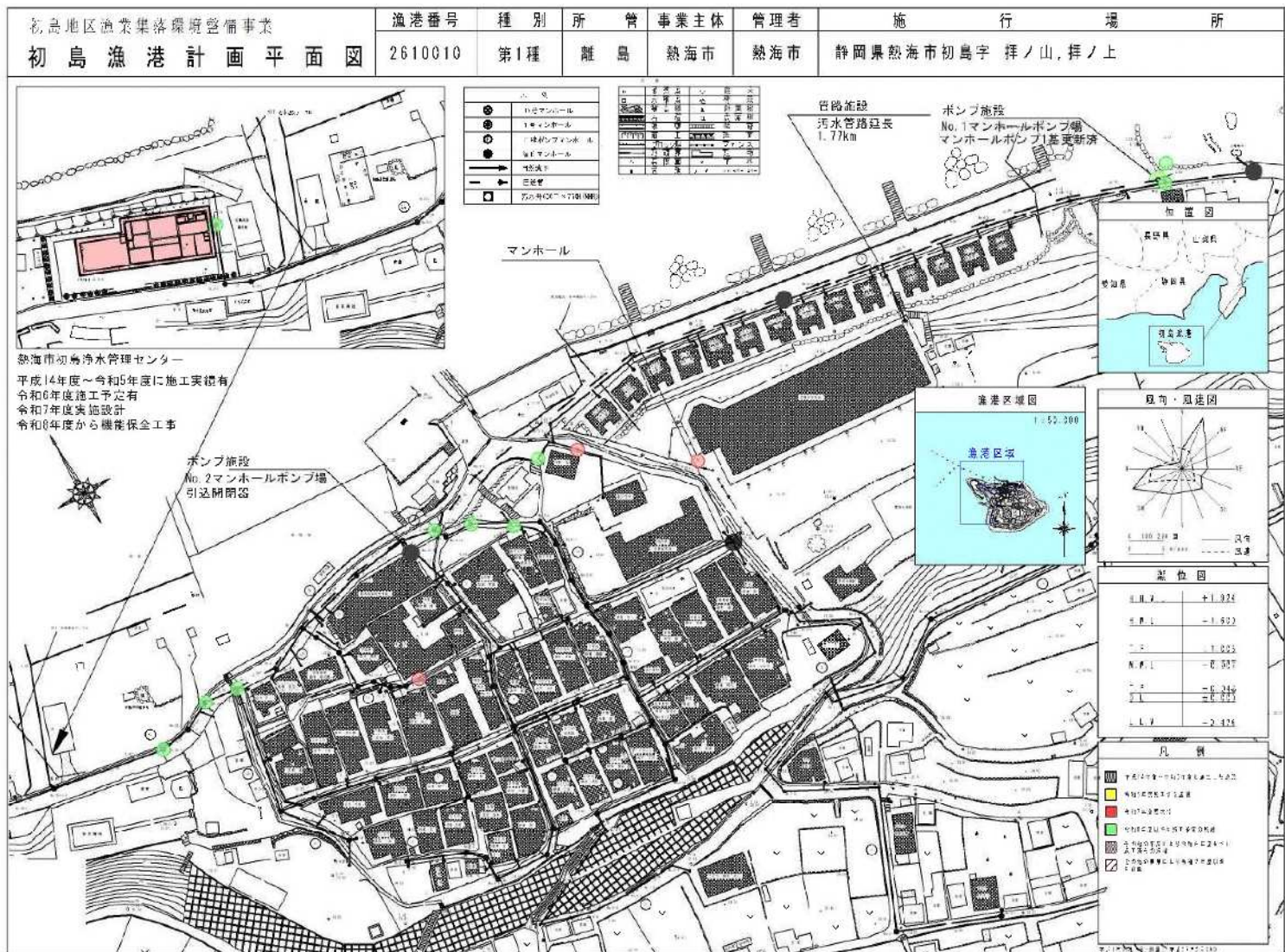
図表 4-2 管路施設一覧

排除区分	管種	管径	延長
分流汚水	HP	250	55.54m
分流汚水	VU	150~250	1,439.30m
分流汚水	PE	100	298.95m
合計			1,793.79m

(出典) R5 年度 機能保全計画

※マンホールポンプ場

- ・ NO.1 マンホールポンプ場 (φ65×1.5kW×2 台)
- ・ NO.2 マンホールポンプ場 (φ65×1.5kW×2 台)



図表 4-3 初島漁港平面図 (出典) R5 年度 機能保全計画

(2) 管路

布設年度別の集計を図表 4-5, 4-6 に示す。

図表 4-5 布設年度別延長（管きょ）

布設年度	延長	割合
2005 年度	322.59m	18%
2006 年度	540.51m	30%
2007 年度	690.74m	39%
2008 年度	239.95m	13%
合計	1,793.79m	

（出典）R5 年度 機能保全計画

図表 4-6 布設年度別箇所数（人孔・蓋）

布設年度	人 孔		蓋		備 考
	箇所数	割合	箇所数	割合	
2005 年度	7 基	7 %	7 基	7 %	
2006 年度	34 基	32 %	32 基	30 %	
2007 年度	48 基	45 %	48 基	45 %	
2008 年度	18 基	17 %	17 基	16 %	
2021 年度			1 基	1 %	更新
2023 年度（予定）			2 基	2 %	更新予定
合計	107 基		107 基		

（出典）R5 年度 機能保全計画

管路施設は、機能保全計画の中で、全施設を対象に管口カメラ点検を実施している。
点検結果の抜粋として、劣化要因判定表を図表 4-7 に示す。

図表 4-7 管路施設の劣化要因判定表（抜粋）

管路施設の劣化要因判定表（VU 上流側土被り $H \geq 2.5\text{m}$ ）

地区名	初島	調査日	R5.10.16			調査団体		
処理区名	初島分区	調査地点	上流側No. 7119 ～下流側No. 7120			調査者		
路線番号	7462					連絡先		
劣化要因		該当項目に○	荷重	地盤ゆるみ	不同沈下	腐食性土壌等	硫化水素等	品質・施工不良
使用・劣化環境								
供用年数	30年以上		2	2	2	2	2	
	15年以上～30年未満		1	1	1	1	1	
管種	VU・VP（硬質塩化ビニル管）	○	1	1	1			1
	DCIP（ダクタイル鋳鉄管）					1	1	1
	FRPM（強化プラスチック複合管）		1	1	1			1
	HP（鉄筋コンクリート管）						2	1
上流側土被り	$H \leq 1.2\text{m}$		2					
	$H \geq 2.5\text{m}$	○	1					
地盤条件	軟弱地盤			1	1			
	液状化地盤			1	1			
地下水条件	水位高			1		1		
土壌条件	腐食性土壌（酸性土壌）					2		
交通条件	交通量が多い		2					
	交通量は多くない	○	1					
使用環境	硫化水素発生要因あり						1	
	吐出口・落差工						2	
事故歴	浸入水、汚水滞留、路面沈下事故歴あり		1	1	1	1	1	1
	管体破壊事故歴あり		1	1	1	1	1	1
評価点合計			3	1	1	0	0	1
総合評価			可能性有	可能性小	可能性小	可能性小	可能性小	可能性小

注1) 例えば、劣化要因のある項目について、使用・劣化環境の該当する項目の数値を合算すれば、当該劣化要因の項目の評価点となる。この評価点が大きい劣化要因の劣化が生じる可能性が高いこととなる。

評価 5点以上： 可能性大（可能性が高い）
 2～4点： 可能性有（可能性が否定できない）
 1点以下： 可能性小（可能性が低い）

※2点以下のものについては、劣化要因が特定されないものとして「経年劣化」とする。

(2) 処理施設の状況

初島の汚泥は、計画上は脱水、炭化、搬送としている。

一方、現在は、炭化装置の煙の問題や老朽化が要因で、撤去する予定となっている。

このため、脱水汚泥の搬出を行い、熱海市環境センター（エコ・プラント姫の沢）にて焼却処理を行っている。

運搬頻度は、概ね3ヶ月に1回程度であり、6t（8m³）コンテナにて搬送を行っている。

漁業集落排水処理施設の管理として、保守点検・清掃・水質検査を行う場合、浄化槽管理者の任命が必要となる。（501人以上の施設であるため）

浄化槽技術管理者は、浄化槽管理士資格、2年以上の実務経験及び資格講習会合格が必要となる。

加えて、脱水汚泥の収集・運搬を行う場合、熱海市の収集・運搬業の許可（一般廃棄物収集運搬業及び一般廃棄物処分業）が必要となる。

初島浄水管理センターの日報及び管理方法、機器点数を図表 4-8 ～ 4-12 に示す。

図表 4-8 熱海市初島浄水管理センター処理状況（保守点検日報）

熱海市初島浄水管理センター処理施設保守点検日報（1/2）

令和 2 年 3 月 30 日 (月)		天気	曇	室温	16℃
制 御 盤	システム自動運転動作異常		有・(無)	盤内部品故障	有・(無)
点 検 項 目	実 施 項 目	運 転 位 置	電 流 値	運 転 状 態	絶 縁 抵 抗
流入ポンプ	レベルS/W・逆止弁・過負荷点検	No1 手・切・自	14.0 A	良・否	(MΩ)
		No2 手・切・自	14.0 A	良・否	(MΩ)
自動荒目スクリーン	駆動部・異音の発生・モーター点検	手・切・自	0.2 A	良・否	(MΩ)
破砕機	破砕状況・異音の発生・過負荷点検	手・切・自	0.2 A	良・否	(MΩ)
流量調整ポンプ	レベルS/W・逆止弁・過負荷点検	No1 手・切・自	8.0 A	良・否	(MΩ)
		No2 手・切・自	8.3 A	良・否	(MΩ)
		No3 手・切・自	8.5 A	良・否	(MΩ)
水中攪拌機	拌機状況・異音の発生・過負荷点検	No1 手・切・自	5.5 A	良・否	(MΩ)
		No2 手・切・自	5.5 A	良・否	(MΩ)
自動細目スクリーン	駆動部・異音の発生・モーター点検	No1 手・切・自	0.2 A	良・否	(MΩ)
し渣脱水機	脱水状況・異音の発生・目詰まり点検	No2 手・切・自	0.2 A	良・否	(MΩ)
		No1 手・切・自	4.6 A	良・否	(MΩ)
処理水ポンプ	レベルS/W・逆止弁・過負荷点検	No2 手・切・自	4.5 A	良・否	(MΩ)
		No3 手・切・自	5.0 A	良・否	(MΩ)
		No1 手・切・自	1.8 A	良・否	(MΩ)
余剰汚泥引き抜きポンプ	レベルS/W・逆止弁・過負荷点検	手・切・自	4.5 A	良・否	(MΩ)
散水ポンプ	レベルS/W・逆止弁・過負荷点検	手・切・自	3.0 A	良・否	(MΩ)
ばっき沈砂槽ブロワ	ベルト・オイル・エアフィルター点検	No1 手・切・自	30.0 A	良・否	(MΩ)
No2 手・切・自		30.0 A	良・否	(MΩ)	
No3 手・切・自		30.0 A	良・否	(MΩ)	
汚泥貯留槽ブロワ	手・切・自	6.5 A	良・否	(MΩ)	
脱臭ファン	ベルト・過負荷点検 差圧 0.1 kpa	手・切・自	2.4 A	良・否	(MΩ)
前処理室排気ファン	送風状況・異音の発生・過負荷点検	手・切・自	3.5 A	良・否	(MΩ)
汚泥処理室排気ファン	送風状況・異音の発生・過負荷点検	手・切・自	2.0 A	良・否	(MΩ)
ブロワ室排気ファン	送風状況・異音の発生・過負荷点検	手・切・自	2.0 A	良・否	(MΩ)
ブロワ室吸気ファン	送風状況・異音の発生・過負荷点検	No1 手・切・自	3.6 A	良・否	(MΩ)
		No2 手・切・自	3.6 A	良・否	(MΩ)

各 槽 の 点 検	
流入ポンプ槽	槽内浮上物 有・(無) 良・否 電磁流量計状況 有・(無) 良・否 処理水量 76 m ³ /h
流入水路 ばっき沈殿槽 排砂槽 他	スクリーンし渣除去 有・(無) 良・否 ばっき状況 有・(無) 良・否 発泡状況 有・(無) 沈砂排出状況 有・(無) 排砂槽の堆積 有・(無) 使用水路 破砕機・スクリーン
流量調整ポンプ槽	槽内攪拌状況 有・(無) 良・否 発泡状況 有・(無) 良・否 水位計状況 有・(無) 良・否 現在水位 160 cm
微細目スクリーン槽 (し渣脱水機)	スクリーン運転切替 No1・No2 有・(無) 良・否 ホッパ内散水状況 有・(無) 良・否 スクリーンし渣除去 有・(無) 良・否
流量調整装置	沈砂の堆積状況 有・(無) 汚水計量値 157 m ³ /d
ばっき槽	第1槽 発泡状況 有・(無) 第2槽 発泡状況 有・(無) No1 送風量 550 m ³ /min No2 送風量 550 m ³ /min 第1槽 散気管洗浄操作 有・(無) 第2槽 散気管洗浄操作 有・(無) 吸引運転時圧力 50 -kpa 吸引停止時圧力 5 -kpa 処理水量 20 m ³ /h
膜分離装置	第1 透過試験 (50ml/5min) 5 ml 第2 透過試験 (50ml/5min) 5 ml 第1槽 汚泥粘度 100 mpas 第2槽 汚泥粘度 100 mpas
タイマー設定状況 (通常運転設定)	運転 9 min 停止 3 min ばっきブロワ開欠運転 運転 55 min 停止 5 min

熱海市初島浄水管理センター処理施設保守点検日報 (2/2)

各 槽 の 測 定								
測定項目	色相	異臭	水温	P. H	D O	M L S S	残留塩素	透視度
流入ポンプ水	白濁色	有・ ☒ 無	21℃	6.8				
流量調整槽	茶褐色	有・ ☒ 無	21℃	6.6	0.1 mg/l			
No1 膜分離槽	茶褐色	有・ ☒ 無	20℃	7.0	2.3 mg/l	11000 mg/l		
No2 膜分離槽	茶褐色	有・ ☒ 無	19℃	7.0	2.6 mg/l	9500 mg/l		
処理水(散水)	透明	有・ ☒ 無	19℃	7.0				50 cm
放流水	透明	有・ ☒ 無	19℃	7.0			0.1 mg/l	50 cm

流入量・排出量データ

日付	流入量	排出量
3月26日	— m3/日	— m3/日
4月27日	— m3/日	— m3/日
11月28日	— m3/日	— m3/日
11月29日	— m3/日	— m3/日
月 日	m3/日	m3/日
月 日	m3/日	m3/日
月 日	m3/日	m3/日
月 日	m3/日	m3/日
月 日	m3/日	m3/日
月 日	m3/日	m3/日
月 日	m3/日	m3/日
月 日	m3/日	m3/日
月 日	m3/日	m3/日
合計	— m3/日	— m3/日
平均	— m3/日	— m3/日

消毒槽	滅菌器の接触状況	☒ 良・ ☐ 否
	消毒剤の補給	有・ ☒ 無
	投入量	0 kg
	塩素ガスの状況	☒ 弱・ ☐ 中・ ☐ 強
脱臭設備	脱臭ファン 外部の損傷	有・ ☒ 無
	散水管・ドレン管の漏水	有・ ☒ 無
	異音の発生	有・ ☒ 無
自家発電機	外部の損傷	有・ ☒ 無
	燃料の点検	☒ 良・ ☐ 否
	潤滑油の点検	☒ 良・ ☐ 否
	油水分離器ドレン抜き	☒ 良・ ☐ 否
	運転時間	16 h
非常用発電機 (ポータブル)	1号機 運転試験	☒ 良・ ☐ 否
	燃料の点検	☒ 良・ ☐ 否
	2号機 運転試験	☒ 良・ ☐ 否
	燃料の点検	☒ 良・ ☐ 否
ソーラー・風力 自家発電状況		9069 kWh

各薬品等 使用・在庫・入荷 状況

薬品名	本日使用量		本日在庫量		入 荷 量	
次亜塩素酸ソーダ	0 缶		8 缶		0 缶	
チオ硫酸ナトリウム	0 袋	0 kg	1 袋	25 kg	0 袋	0 kg
シュウ酸	0 袋	0 kg	1 袋	25 kg	0 袋	0 kg
苛性ソーダ(水酸化ナトリウム)	0 袋	0 kg	1 袋	25 kg	0 袋	0 kg
滅菌剤(トヨクロン)	0 袋	0 kg	33 袋	165 kg	0 袋	0 kg

全 般 事 項		
臭気、騒音、など、周辺への影響	有・ ☒ 無	槽内外全般清掃 ☒ 良・ ☐ 否
建物全体の異常	有・ ☒ 無	金属部腐蝕状況 ☒ 普通・ ☐ 異常
建物周辺敷地内の異常	有・ ☒ 無	害虫駆除作業の実施 ☒ 有・ ☐ 無
窓・扉・照明の異常	有・ ☒ 無	マンホールの密閉状態 ☒ 良・ ☐ 否

備 考：

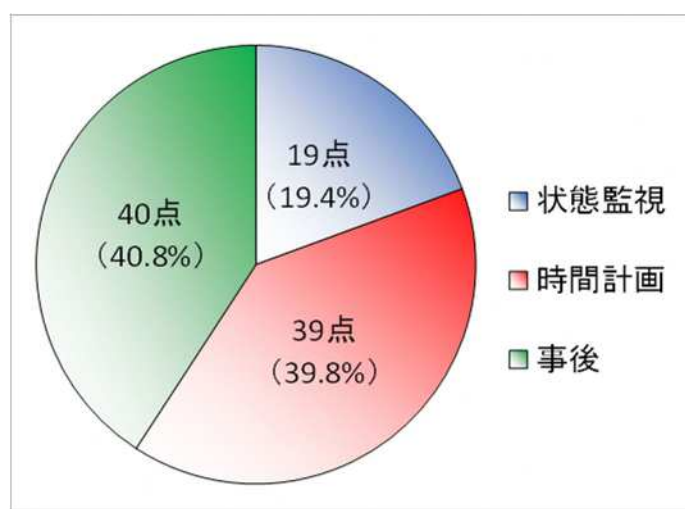
図表 4-9 管理方法の設定方法

施設	工種	状態 監視	時間 計画	事後	備考
汚水ポンプ	機械	●			揚水機能の主機である。
自動粗目スクリーン	機械			●	処理機能に直接に影響しない設備である
破砕機	機械	●			しき除去機能の主機である。
細目スクリーン	機械			●	処理機能に直接に影響しない設備である
スクリーン槽	機械			●	処理機能に直接に影響しない設備である
自動微細目スクリーン	機械	●			しき除去機能の主機である。
し渣脱水機	機械			●	処理機能に直接に影響しない設備である
沈砂排出ポンプ	機械			●	処理機能に直接に影響しない設備である
沈砂池散気装置	機械			●	処理機能に直接に影響しない設備である
汚水計量槽	機械			●	処理機能に直接に影響しない設備である
流量調整ポンプ	機械	●			生物処理の補助的な役割を担う設備である。
水中攪拌機	機械			●	処理機能に直接に影響しない設備である
余剰汚泥引抜ポンプ	機械			●	処理機能に直接に影響しない設備である
曝気沈砂池槽ブロウ	機械			●	処理機能に直接に影響しない設備である
曝気槽ブロウ	機械	●			生物処理機能に主要な設備である。
可搬式汚泥ポンプ(車輪付)	機械			●	処理機能に直接に影響しない設備である
膜分離装置	機械		●		生物処理機能の主要な設備であるが、水没機器であり、点検・調査が困難であるため時間計画保全とする。
処理水ポンプ	機械			●	処理機能に直接に影響しない設備である
散水ポンプ	機械			●	処理機能に直接に影響しない設備である
給水ユニット	機械			●	処理機能に直接に影響しない設備である
消毒器	機械			●	主要機であるが、簡易な構造であり代替品の設置等の対応が容易に可能であるため事後保全とする。
汚泥貯留槽ブロウ	機械			●	処理機能に機能に影響しない設備である
散気装置(汚泥貯留槽)	機械			●	処理機能に機能に影響しない設備である
汚泥移送ポンプ	機械	●			汚泥の移送の処理の主機である。
高分子凝集剤溶解装置	機械			●	処理機能に直接に影響しない設備である
汚泥脱水機	機械	●			汚泥脱水を担う主要な設備であり、性能劣化の予測が可能である。
凝集剤供給ポンプ	機械			●	処理機能に直接に影響しない設備である
脱水汚泥貯留ホッパ	機械			●	システム上使用されていない機器の為、事後保全とする。
汚泥搬出コンベヤ	機械	●			汚泥脱水～炭化の移送を担う主機である。 ただし、使用されていない、冷却コンベヤ、搬出コンベヤについては事後保全とする。
炭化装置	機械	●			汚泥減容化の為の主要な設備であり、性能劣化の予測が可能である。
灯油タンク	機械			●	処理機能に直接に影響しない設備である
吊上装置	機械			●	処理機能に直接に影響しない設備である
生物脱臭装置	機械			●	処理機能に直接に影響しない設備である
脱臭ファン	機械			●	処理機能に直接に影響しない設備である
換気設備	建築機械			●	処理機能に直接に影響しない設備である
空調設備	建築機械			●	処理機能に直接に影響しない設備である
衛生設備	建築機械			●	処理機能に直接に影響しない設備である
受変電設備	電気		●		処理機能に直接影響があるが、電気設備であり劣化の兆候の判断が困難である為、時間計画保全とする。
自家発電設備	電気		●		停電時の非常時の対応において重要な設備であるが、劣化の兆候の判断が困難である為、時間計画保全とする。
負荷設備	電気		●		処理機能に直接影響があるが、電気設備であり劣化の兆候の判断が困難である為、時間計画保全とする。
計測設備	電気		●		処理機能に直接影響があるが、電気設備であり劣化の兆候の判断が困難である為、時間計画保全とする。
監視制御設備	電気		●		処理機能に直接影響があるが、電気設備であり劣化の兆候の判断が困難である為、時間計画保全とする。
電灯分電盤	建築電気			●	処理機能に直接に影響しない設備である
照明器具	建築電気			●	処理機能に直接に影響しない設備である
太陽光発電設備	建築電気			●	処理機能に直接に影響しない設備である
屋外灯	建築電気			●	処理機能に直接に影響しない設備である

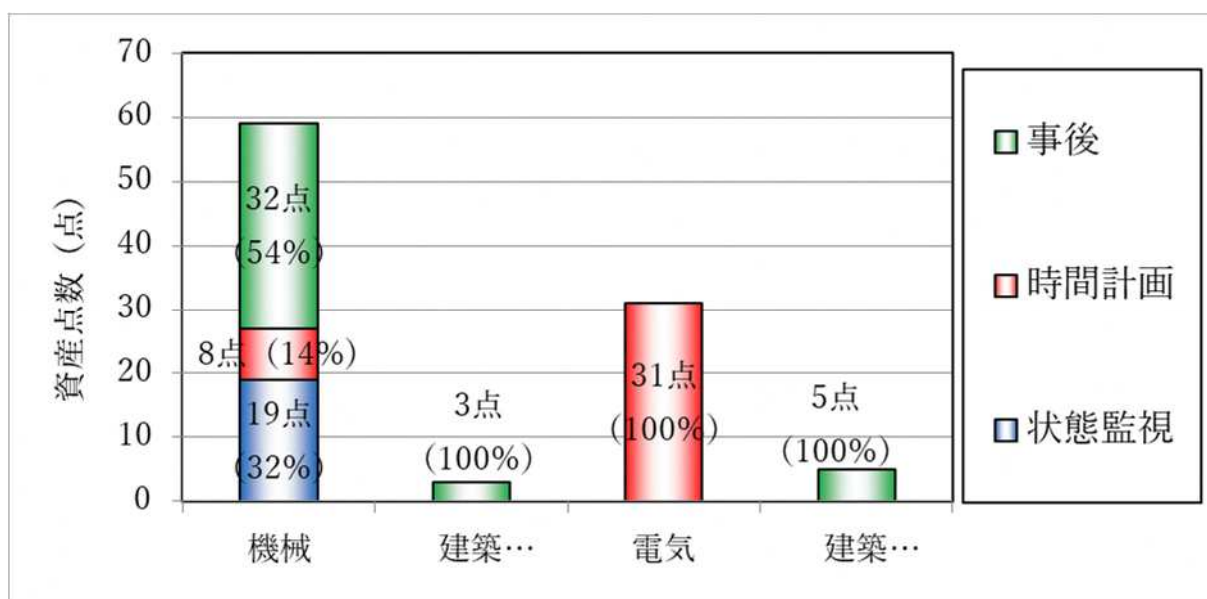
(出典) R5 年度 機能保全計画

図表 4-10 管理方法の設定結果

管理方法	機械		電気		土木	建築	合計	割合
	機械	建築機械	電気	建築電気				
状態監視	19	0	0	0	-	-	19	19.4%
時間計画	8	0	31	0	-	-	39	39.8%
事後	32	3	0	5	-	-	40	40.8%
合計	59	3	31	5	0	0	98	100.0%



図表 4-11 管理方法の設定結果（割合）（出典）R5 年度 機能保全計画



図表 4-12 管理方法の設定結果（工種毎）（出典）R5 年度 機能保全計画

劣化要因の整理として、機械・電気の劣化要因判定表に示す。

図表 4-13 機械設備の劣化要因判定表

機械・電気設備の劣化要因判定表

地区名	初島漁港	調査日	R1.11.7		調査団体			
処理区名		設備名	し渣脱水機		調査者			
設備番号	PM-9				連絡先			
劣化要因 使用・劣化環境		該当項目に○	過大応力	稼働部 磨耗	熱的要因	電気的 要因	化学的 腐食	環境的 要因
供用年数≧耐用年数			2	2	2	2	2	2
稼働条件が仕様範囲以上			1	1	1	1		
水量（風量）が仕様範囲以上				1				
腐食性水の取り扱いあり							1	
腐食性ガスの発生あり							1	
故障履歴あり			1	1	1	1	1	1
補修履歴あり		○	1	1	1	1	1	1
</								

注1) 例えば、劣化要因のある項目について、使用・劣化環境の該当する項目の数値を合算すれば、当該劣化要因の項目の評価点となる。この評価点が高い劣化要因の劣化が生じる可能性が高いこととなる。

評価 5点以上：可能性大（可能性が高い）
2～4点：可能性有（可能性が否定できない）
1点以下：可能性小（可能性が低い）

※2点以下のものについては、劣化要因が特定されないものとして「経年劣化」とする。

(出典) R5 年度 機能保全計画

機械・電気設備の劣化要因判定表

調査日	R1.11.7	調
-----	---------	---

注1) 例えば、劣化要因のある項目について、使用・劣化環境の該当する項目の数値を合算すれば、当該劣化要因の項目の評価点となる。この評価点が高い劣化要因の劣化が生じる可能性が高いこととなる。

評価	5点以上：	可能性大（可能性が高い）
	2～4点：	可能性有（可能性が否定できない）
	1点以下：	可能性小（可能性が低い）

※2点以下のものについては、劣化要因が特定されないものとして「経年劣化」とする。

74

(3) 各施設の状況、整備計画（漁業集落排水）

初島地区では、これまでに管理してきた漁業集落排水施設の老朽化が進み、今後、維持管理費・改築費の増大が予想される。このことから、施設の延命化と維持管理や改築に要する費用の平準化等による長期的な管理経費の抑制を図るため、予防保全型の施設管理を基本とした、機能保全計画において、5カ年の事業計画を策定している。（図表 4-15）

図表 4-15 5カ年の事業計画（令和5年度策定）

工事グループ			工種	改築方針	第1期 R2～R6	第2期機能保全計画 年度別概算事業費(千円)						合計
					2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)		
処理場施設	1	改築実施設計(施設)	-	-		5,000					5,000	
	2	初島漁業集落排水処理施設 機械設備工事	PM-1	機械	更新			46,000			46,000	
	3	初島漁業集落排水処理施設 電気設備工事	PE-1	電気	更新			30,000			30,000	
	4	初島漁業集落排水処理施設 外部器具更新工事	A-1	建築	更新				18,000		18,000	
	5	汚泥脱水設備修繕工事		機械	修繕	27,720						
	6	初島漁業集落排水処理施設 自家発電設備修繕工事	PE-2	電気	修繕					8,800	8,800	
	7	初島漁業集落排水処理施設 NO.1タンホールポンプ修繕工事	PM-2	機械	更新						2,200	2,200
	8	脱化設備撤去工事	単費	機械	撤去 ※別添計画	6,600						
	事業費(施設)	機械設備				34,320		46,000			2,200	48,200
		電気設備						30,000		8,800		38,800
		土木設備										
		建築設備							18,000			18,000
		生臭機械設備										
生臭電気設備												
計					34,320		76,000	18,000	8,800	2,200	105,000	
設計費(施設)						5,000					5,000	
ストックマネジメント計画 事業費(施設)					34,320	5,000	76,000	18,000	8,800	2,200	110,000	
管路施設	1	令和7年度初島管路施設工事その1	P-1	管路	更新		2,000				2,000	
	2	令和8年度初島管路施設工事その2	P-2	管路	更新			2,000			2,000	
	3	令和9年度初島管路施設工事その3	P-3	管路	更新				2,000		2,000	
	4	令和10年度初島管路施設工事その4	P-4	管路	更新					2,000	2,000	
	ストックマネジメント計画 事業費(管路)						2,000	2,000	2,000	2,000	8,000	
維持管理	1	施設情報等登録業務 (台帳をクラウドシステムへ移行)	単費	-	※別添計画		2,000				2,000	
	2	機能保全計画策定 (機能診断および最適整備戦略策定)	単費	-	※別添計画					20,000	20,000	
合計	工事費(施設・管路)					34,320	2,000	78,000	20,000	10,800	2,200	113,000
	設計費(施設・管路)						5,000					5,000
	ストックマネジメント計画 事業費(施設・管路)						7,000	78,000	20,000	10,800	2,200	118,000
	施設情報等登録業務(管路)						2,000					2,000
	機能保全計画策定									20,000		20,000
	ストックマネジメント計画事業費(施設・管路)					34,320	9,000	78,000	20,000	30,800	2,200	140,000